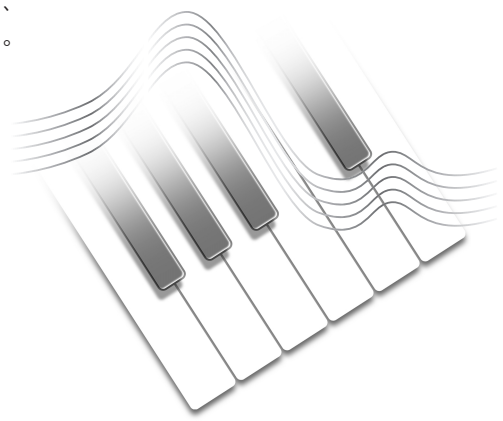
CELVIANO

AP-80R

J

取扱説明書（保証書別添）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、
保証書とともに、大切に保管してください。



「安全上のご注意」
ご使用前に、添付別紙「安全上のご注意」を
お読みの上、正しくお使いください。

目次

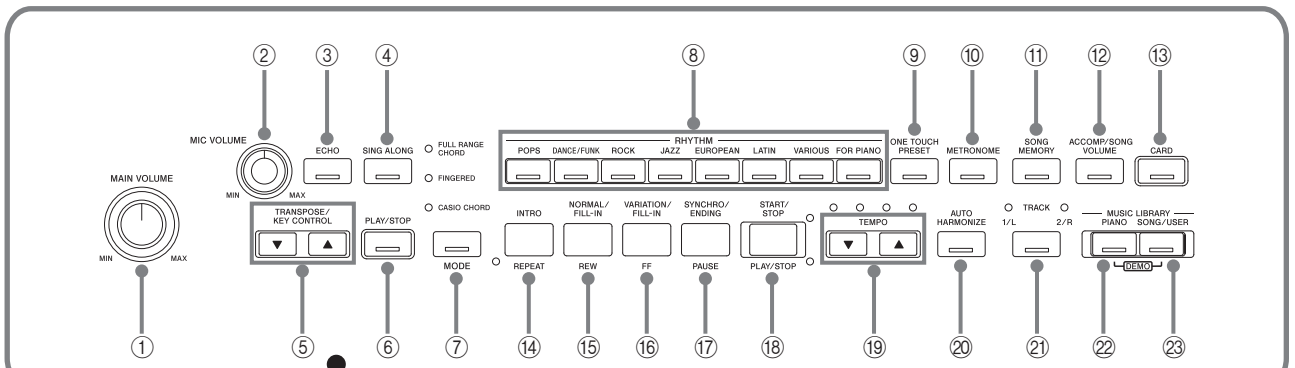
各部の名称 2
電源の準備 4
接続について 5
ヘッドホンを接続するには 5
オーディオ機器やアンプと接続するには 5
いろいろな音色で弾いてみましょう 6
音色の種類 6
音色を選んでみる 6
音色に効果をかけてみる 6
2つの音色を重ねてみる（レイヤー） 7
2つの音色を左右に分けてみる（スプリット） 7
レイヤーとスプリットを同時に使うには 8
ペダルの効果をかけるには 8
メトロノームを鳴らしてみる 9
リズムを鳴らしてみましょう 10
リズムを鳴らしてみる 10
自動伴奏を使ってみる 11
伴奏／内蔵曲／カードの曲の音量を変えるには 13
オートハーモナイズを使うには 13
ワンタッチプリセットを使うには 13
レジストレーション機能を使ってみましょう 14
レジストレーション機能でできること 14
登録するには 15
登録した設定を呼び出すには 15
曲の自動演奏を楽しむには 16
ピアノグループの曲を聴いてみましょう 16
ソンググループの曲を聴いてみましょう 16
テンポを調節するには 16
曲を一時停止するには 17
曲を早戻しするには 17
曲を早送りするには 17
フレーズを繰り返し聴くには 17
メロディーの音色を変えるには 17
全曲を通して聴くには 17
ユーザーソングについて 18
CARDボタンを使うには 18
練習してみる 18
マイクを使って歌ってみましょう 19
トランスポーズ機能を利用するには 20
演奏を録音してみる 21
本機で録音できる内容とパート／トラックについて 21
練習の成果を録音してみましょう（指定曲録音） 22
演奏をそのまま録音してみましょう（自由曲録音） 22
自由曲録音した演奏を聴いてみましょう 23
メロディーの演奏を重ねて録音してみましょう（自由曲録音） 23
特定のパート／トラックを消去するには 24
その他の設定 25
鍵盤のタッチを変更してみる 25
他の楽器と音程を合わせてみる 25
レイヤー音色の音量を調節する 25
液晶表示部のコントラストを調整する 25
MIDI機能を使ってみる 26
パソコンとの接続について 26
USBモード・MIDIモードについて 26
内蔵曲を増やすには 27
カードを使うには 28
カードを使うには 28
ファイルの保存について 29
ファイルの呼び出し 30
ファイル名の変更 30
ファイルの削除 31
カードのフォーマット 31
入力できる文字について 31
カード使用時のエラーについて 32
資料 33
困ったときは 33
イスの組み立てかた 35
スタンドの組み立てかた 36
譜面立ての立てかた 38
製品仕様 39
トーンリスト 40
リズムリスト 42
ソングリスト 43
ドラム音色リスト 44
フィンガードコード一覧表 45
ご使用上の注意 46
保証・アフターサービス 46
MIDI インプリメンテーション・チャート

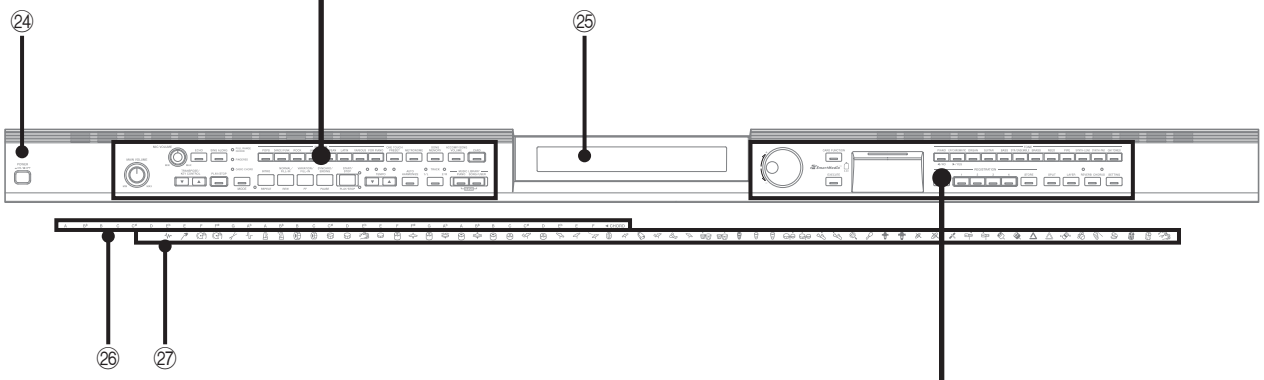
AP80R-JA-1

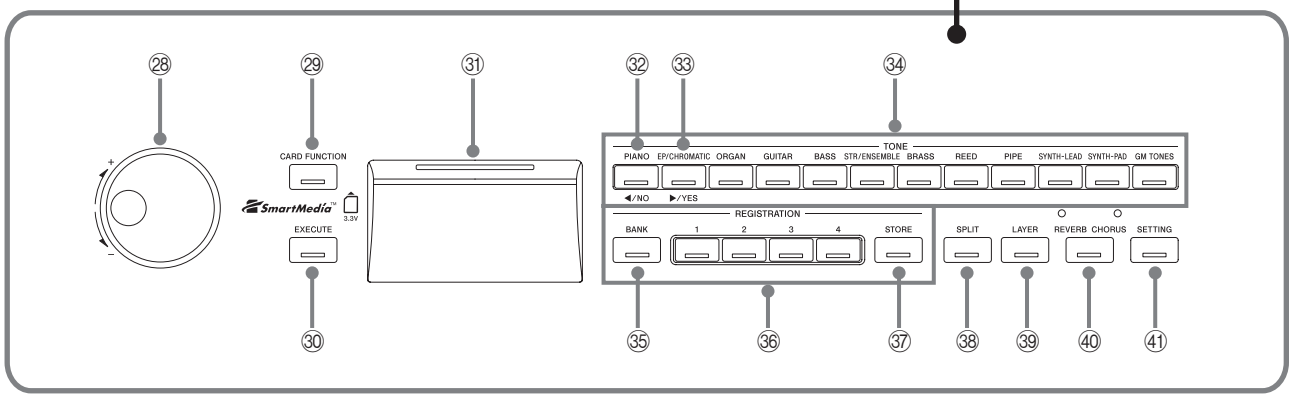
CASIO

AP80R_j_cover.p65 Page 1 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

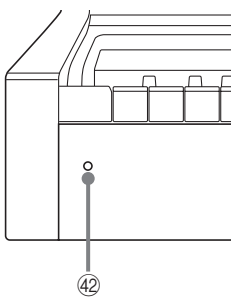
各部の名称

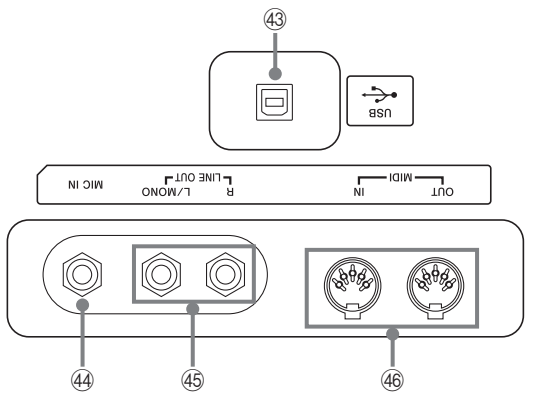




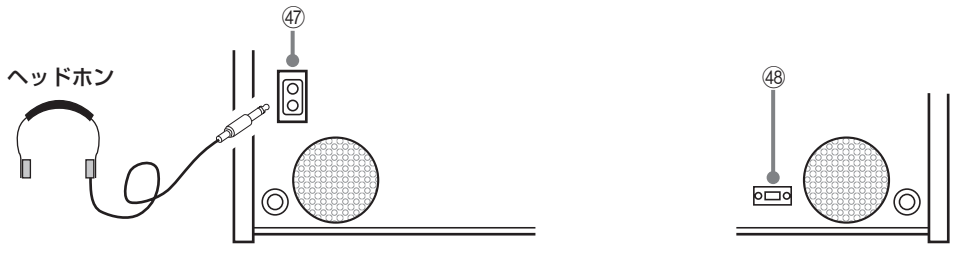


【前面図】





【底面図】



429A-J-002A

AP80R_j_02-15.p65 Page 2 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

⚠注意

- 本機を演奏する際、必ず本機のスライド式鍵カバーを完全に開けるようにしてください。不完全な開け方で演奏した場合、演奏の際の振動でカバーが閉まり、本機とカバーとの間に指をはさむことがあり、危険です。

① **MAIN VOLUME** つまみ ☞5, 6
② **MIC VOLUME** つまみ ☞19
③ **ECHO** ボタン ☞20
④ **SING ALONG** ボタン ☞19
⑤ **TRANSPOSE/KEY CONTROL** ボタン ☞20
⑥ **<PLAY/STOP>** ボタン ☞20
⑦ **MODE** ボタン ☞11, 13
⑧ **RHYTHM** ボタン ☞10, 20
⑨ **ONE TOUCH PRESET** ボタン ☞13
⑩ **METRONOME** ボタン ☞9
⑪ **SONG MEMORY** ボタン ☞21～24
⑫ **ACCOMP/SONG VOLUME** ボタン ☞13
⑬ **CARD** ボタン ☞18
⑭ **INTRO, REPEAT** ボタン ☞11, 17, 23
⑮ **NORMAL/FILL-IN, REW** ボタン ☞11, 17, 23
⑯ **VARIATION/FILL-IN, FF** ボタン ☞10, 17, 23
⑰ **SYNCHRO/ENDING, PAUSE** ボタン ☞11, 17, 23
⑱ **START/STOP, PLAY/STOP** ボタン ☞10, 11, 16, 17, 22
⑲ **TEMPO** ボタン ☞9, 10, 16
⑳ **AUTO HARMONIZE** ボタン ☞13
㉑ **TRACK 1/L 2/R** ボタン ☞18, 21, 22～24
● **MUSIC LIBRARY**
㉒ **PIANO** ボタン ☞16
㉓ **SONG/USER** ボタン ☞16, 27
㉔ **POWER** ボタン ☞4, 6
㉕ 液晶表示部 ☞25
㉖ 音名 ☞11
㉗ 打楽器イラスト ☞44
㉘ ダイヤル ☞6, 7, 9, 10, 13, 16, 18, 19, 25, 29～31
㉙ **CARD FUNCTION** ボタン ☞29～31
㉚ **EXECUTE** ボタン ☞29～31
㉛ カードスロット ☞28
㉜ [◀]カーソル /**NO** ボタン ☞29～31
㉝ [▶]カーソル /**YES** ボタン ☞29～31
㉞ **TONE** ボタン ☞6
㉟ **BANK** ボタン ☞14, 15
㊱ **REGISTRATION** ボタン ☞14, 15
㊲ **STORE** ボタン ☞15
㊳ **SPLIT** ボタン ☞7, 8
㊴ **LAYER** ボタン ☞7, 8
㊵ **REVERB CHORUS** ボタン ☞6
㊶ **SETTING** ボタン ☞25, 26

【前面部】

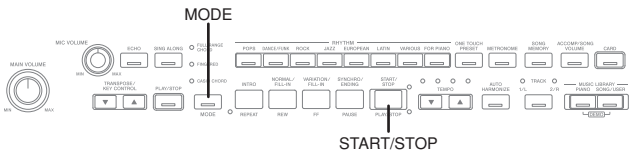
㊷ 電源ランプ ☞4

【底面部】

㊸ **USB** 端子 ☞26
㊹ **MIC IN** 端子 ☞19
㊺ **LINE OUT R, L/MONO** 端子 ☞5
㊻ **MIDI OUT/IN** 端子 ☞19, 26
㊼ **PHONES** 端子 ☞5
㊽ ペダルコネクタ ☞38

NOTE

- ☞マーク右の数字は、参照ページです。
- スタンドについては、36ページをご参照ください。
- 各部の名称は、本書の説明文中で太字で記載されます。
- 本機には、**PLAY/STOP**ボタンが2つあります。本書では、**SING ALONG**ボタンの下にある方を**<PLAY/STOP>**ボタンと表記して区別してあります。
- 本書では、各章の最初のページの下部に、本体操作部のイラストを記載しています。操作で使うボタンなどの位置を確認できます。



429A-J-003A

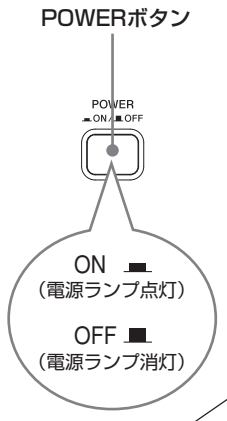
AP80R_j_02-15.p65 Page 3 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

電源の準備

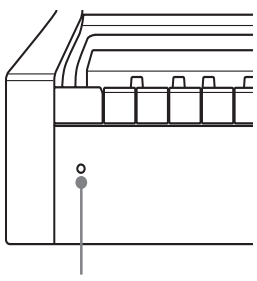
本機は、電源として家庭用電源を使用します。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

1 **POWER**ボタンを“OFF”にしておきます。

【スイッチ図】



【前面図】



2 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

重要

- 電源プラグを抜き差しするときは、POWERボタンが“OFF”になっている事を確認してください。

● 本機の電源を完全に切るには、電源ランプが消えた後にコンセントから電源プラグを抜いてください。安全上の対処等で電源を切る場合、必ずお守りください。

メモリー内容の保持について

本機では、電源を切った後も、以下の設定やメモリー機能を使って本機に記憶させた内容などが保持されており、次に電源を入れたときに同じ設定内容が呼び出されます。

＜主な保持内容＞

- ソングメモリーの録音データ
- レジストレーションの登録内容
- ユーザーソング
- 画面コントラスト設定
- ミュージックライブラリーの曲番号

429A-J-004A

AP80R_j_02-15.p65 Page 4 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

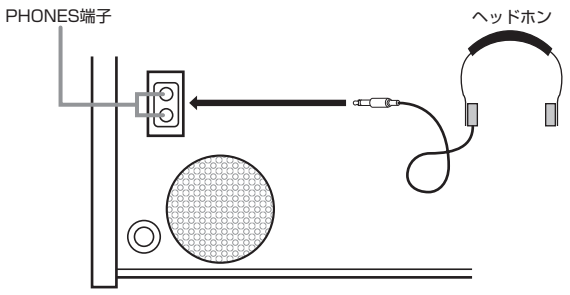
接続について

重要

- 接続の際は、本機の**MAIN VOLUME**つまみを(接続する機器側にも音量調節があればそちらも)絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。

ヘッドホンを接続するには

【底面部】



ヘッドホンを**PHONES**端子に接続します。本機のスピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏が楽しめます。なお、耳の保護のために音量を上げすぎないようにご注意ください。

NOTE

- ヘッドホンのプラグは**PHONES**端子に根元までしっかり差し込んで下さい。プラグが根元まで挿入されていないと、ヘッドホンの片側からしか音が出ない場合があります。

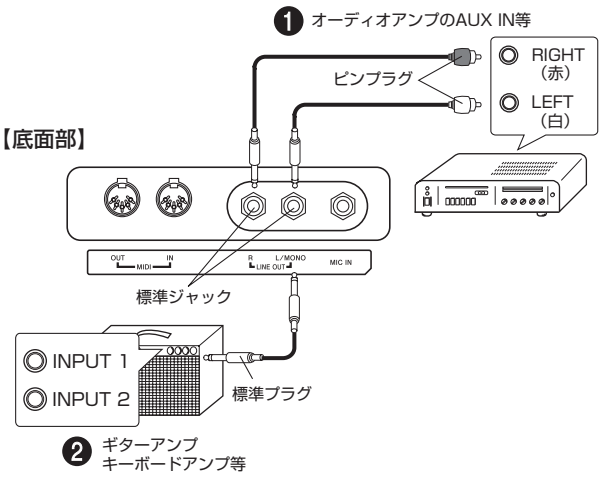
オーディオ機器やアンプと接続するには

オーディオ機器や楽器用アンプと接続すれば、それらの機器のスピーカーの能力に応じた、より迫力のある音量や音質で、演奏を楽しめます。

重要

- 本機では、ヘッドホンを使用しているときはヘッドホンで聴くのに適した音質に、内蔵スピーカーを使用しているときは内蔵スピーカーで聴くのに適した音質に自動的に切り替わります。これに従って本機の**LINE OUT R, L/MONO**端子から出力される音質も、ヘッドホンを使用しているか内蔵スピーカーを使用しているかによって自動的に変わります。

【底面部】



オーディオ機器と接続するには（図 ❶）

R(Right)が右チャンネル、**L/MONO**(Left)が左チャンネルの音です。市販の接続コードで図❶のように、両方とも接続してください。通常はオーディオ機器のインプットセレクターを、接続した端子(AUX IN等)に切り替えます。音量は本機の**MAIN VOLUME**つまみでも調節できます。

楽器用アンプと接続するには(図 ❷)

R(Right)が右チャンネル、**L/MONO**(Left)が左チャンネルの音です。**L/MONO**だけに接続すれば、両方のチャンネルの混ざった音になります。市販の接続コードで図❷のように接続してください。音量は本機の**MAIN VOLUME**つまみでも調節できます。

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

いろいろな音色で弾いてみましょう

音色の種類

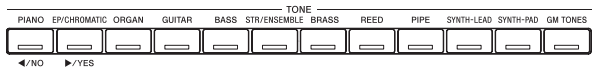
本機には、次の音色があります。

パネル音色	120音色
GM音色	128音色
ドラムセット	10セット

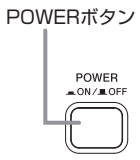
- 詳細は、40ページのトーンリストを参照してください。

音色を選んでみる

本機のパネル音色は、全部で12のグループに分かれています。
各音色グループは、パネル上の**TONE**ボタンで指定できます。



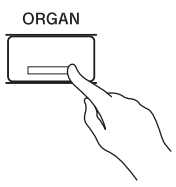
1 **POWER**ボタンを押します。



2 **MAIN VOLUME**つまみで音量を調節します。
- 弾く前は、小さめにしておきましょう。

3 12個の**TONE**ボタンから、鳴らしたいグループの音色ボタンを押します。
- 各音色グループと音色名は、40ページのトーンリストを参照してください。

例：ORGAN



- **TONE**ボタンのランプが点灯します。

```
[000: Drawbar Org1]
 Pop 1
```

4 ダイヤルを回します。
- 音色が連続的に切り替わります。画面上に希望の音色名を表示させてください。

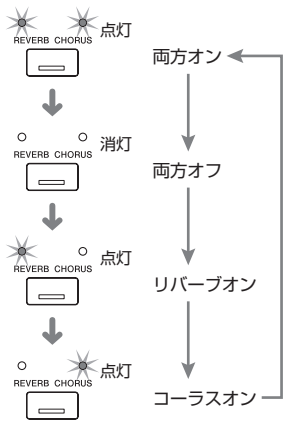
例：Jazz Organ

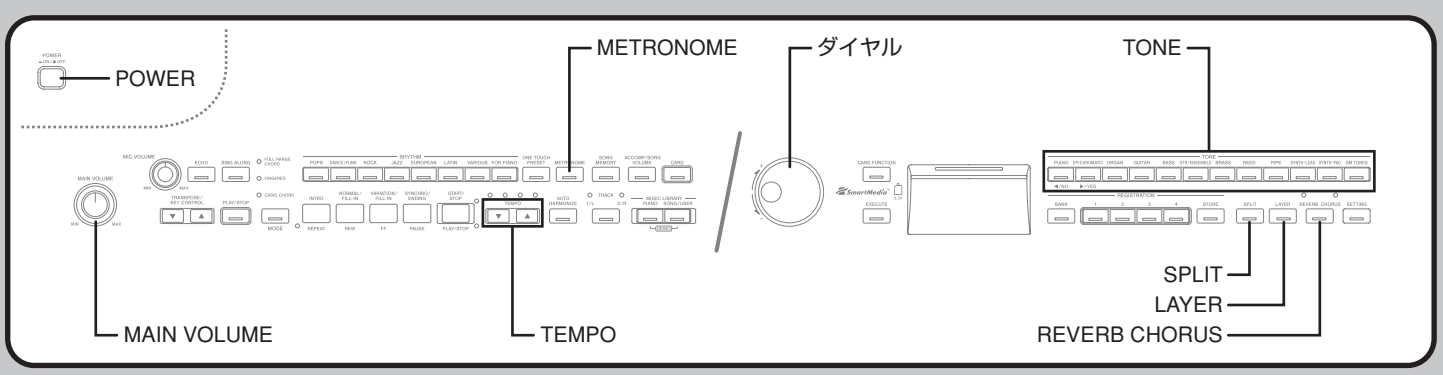
```
[006: Jazz Organ  ]
 Pop 1
```

音色に効果をかけてみる

リバーブ…残響の効果
コーラス…音が広がるような効果

1 **REVERB CHORUS**ボタンを押すごとに、下図のように設定が切り替わります。
- エフェクトの設定状況は、リバーブ／コーラスランプで確認できます。





429A-J-006A

AP80R_j_02-15.p65 Page 6 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

2 リバーブ、コーラスランプを点灯させ、数秒以内にダイヤルを使って、各エフェクトのタイプを選びます。

<エフェクトリスト>

リバーブ	Room1 Room2 Hall1 Hall2
コーラス	Chorus1 Chorus2 Chorus3 Chorus4

```
Reverb Type:
[Room 1]
```

```
Chorus Type:
[Chorus 1]
```

2つの音色を重ねてみる（レイヤー）

本機では、2種類の音色を重ねて演奏できます。

1 1つ目の音色を選びます。
例：“グランドピアノ”を選ぶ場合は、**PIANO**ボタンを押し、ダイヤルを回して画面上に“Grand Piano”を表示させます。

2 **LAYER**ボタンを押します。
• レイヤーランプが点灯します。

3 2つ目の音色（重ねる音色）を選びます。
例：“ストリングス”を選ぶ。

```
[000: Strings      ]
 Pops 1
```

• 後から重ねた方の音色（レイヤー音色）の**TONE**ボタンのランプが点灯します。

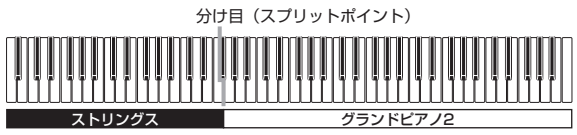
4 もとの1音色の状態に戻すには、**LAYER**ボタンを押します。

後から重ねた方の音色の音量を調整するには

2つ目の音色の音量を調節できます。操作は25ページの「レイヤー音色の音量を調節する」を参照してください。

2つの音色を左右に分けてみる（スプリット）

本機では、鍵盤を高音部、低音部に分けて、それぞれ別々の音色で演奏できます。



1 高音部の音色を選びます。
例：“グランドピアノ”を選ぶ場合は、**PIANO**ボタンを押し、ダイヤルを回して画面上に“Grand Piano”を表示させます。

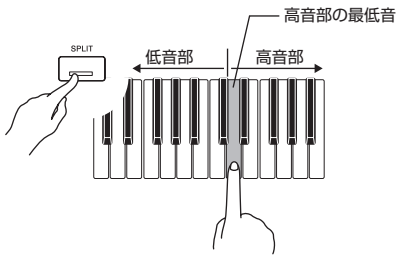
2 **SPLIT**ボタンを押します。
• スプリットランプが点灯します。

3 低音部の音色を選びます。
例：ストリングス”を選ぶ。

4 もとの1音色の状態に戻すには、**SPLIT**ボタンを押します。
• スプリットランプが消灯します。

2つの音色の分け目を変えるには

1 **SPLIT**ボタンを押しながら、高音部の最低音（左端）にしたい鍵盤を押します。



• このとき、鍵盤を押しても音は鳴りません。

```
Split Point:
F#3
```

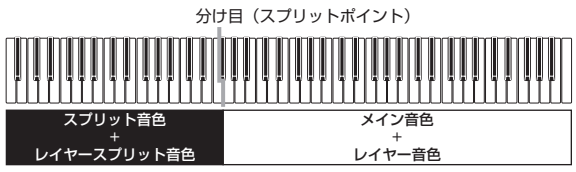
NOTE

• スプリットポイントは自動伴奏の伴奏鍵盤(11、12ページ)とメロディー鍵盤の境目もかねています。スプリットポイントを変更すると、伴奏鍵盤の範囲もそれに連れて変化します。

レイヤーとスプリットを同時に使うには

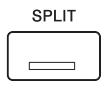
2種類のレイヤーサウンドが鍵盤の高音部(メイン音色+レイヤー音色)と低音部(スプリット音色+レイヤースプリット音色)で発音します。

【レイヤースプリット】



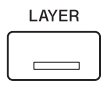
1 メイン音色を指定します。

2 スプリット機能を使ってスプリット音色を指定します。



• 指定後は、スプリットを解除しておきます。

3 レイヤー機能を使ってレイヤー音色を指定します。



4 スプリットの状態から**LAYER**ボタン、またはレイヤーの状態から**SPLIT**ボタンを押して、レイヤースプリットの状態にします。

5 レイヤースプリット音色を指定します。

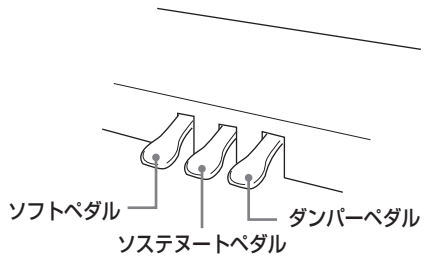
6 スプリットポイントを指定します。

7 鍵盤を弾いてみましょう。

• **LAYER**ボタンと**SPLIT**ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

ペダルの効果をかけるには

ダンパー、ソフト、ソステヌートの3つのペダルがあります。



【各ペダルの働き】

●ダンパーペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音が響き、音に余韻が残ります。

●ソフトペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音の音色が柔らかくなり音量が若干小さくなります。ペダルを踏みこんだ後に弾いた音のみにかかる効果であり、鍵盤を押してからペダルを踏んでも音は変化しません。

●ソステヌートペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、ダンパーペダルと同様に鍵盤で弾いた音が響き、音に余韻が残ります。
ダンパーペダルとの違いは、効果をかけるタイミングにあり、鍵盤を押してから、その鍵盤を離す前にペダルを踏んだ場合にのみ、その音に対して効果がかかります。

429A-J-008A

AP80R_j_02-15.p65 Page 8 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

メトロノームを鳴らしてみる

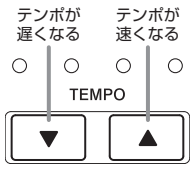
1 **METRONOME**ボタンを押します。
- メトロノームが鳴ります。

2 ダイヤルで拍子を選びます。
- ボタンを押してから数秒内にダイヤル操作を行わないと、通常の状態に戻ります。

```
Metronome  Beat:
[    0]
```

- 拍子は、2～6拍子の間で設定できます。「0」を設定すると、ベル音は鳴らずにクリック音のみが鳴ります。拍子にかかわらず練習するのに便利です。

3 **TEMPO**ボタンでテンポを調節します。



NOTE
- 画面上のテンポ値が[　]付きで表示されている間は、ダイヤルでも調節できます。
  例：[T=120]
- テンポ値は1分間に演奏される四分音符の数です。
- **TEMPO**ボタンの∧／∨ボタンを同時に押すと、テンポ値が初期設定に戻ります。

4 メトロノームを止めるには、**METRONOME**ボタンをもう一度押します。

リズムを鳴らしてみましょう

リズムを鳴らしてみる

本機には、120種類のリズムが内蔵されています。42ページのリズムリストを参照してください。

NOTE

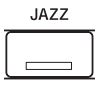
- FOR PIANO(フォーピアノ)グループの10～19番のリズムは、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていません。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。モードをカシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかに設定した状態で、コードを指定してご使用ください(次ページ参照)。
- 各リズムにはノーマル、バリエーションの2パターンがあり、ボタンで選べます。

本機のリズムは、全部で8のグループに分かれています。各リズムグループは、パネル上の**RHYTHM**ボタンで指定できます。

1 8個の**RHYTHM**ボタンから、選びたいグループのリズムボタンを押します。

- 各リズムグループとリズム名は、42ページのリズムリストを参照してください。

例：JAZZ



- **RHYTHM**ボタンのランプが点灯します。

```
 Grand Piano              T=120
[ 00: Big Band 1   ]
```

2 ダイヤルを回します。

- リズムが連続的に切り替わります。画面上に希望のリズム名を表示させてください。

例：Swing

```
 Grand Piano              T=120
[ 03: Swing        ]
```

3 **START/STOP**ボタンを押します。

- 選んだリズムのノーマルパターンが鳴ります。

4 **VARIATION/FILL-IN**ボタンを押すと、選んだリズムのバリエーションパターンが鳴ります。

- ノーマルパターンに戻すには、**NORMAL/FILL-IN**ボタンを押します。

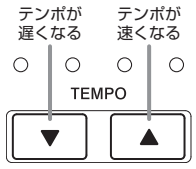
5 リズムを止めるには、もう一度**START/STOP**ボタンを押します。

NOTE

- リズム停止中に、**NORMAL/FILL-IN**ボタン、**VARIATION/FILL-IN**ボタンを押して、リズムを鳴らすこともできます。

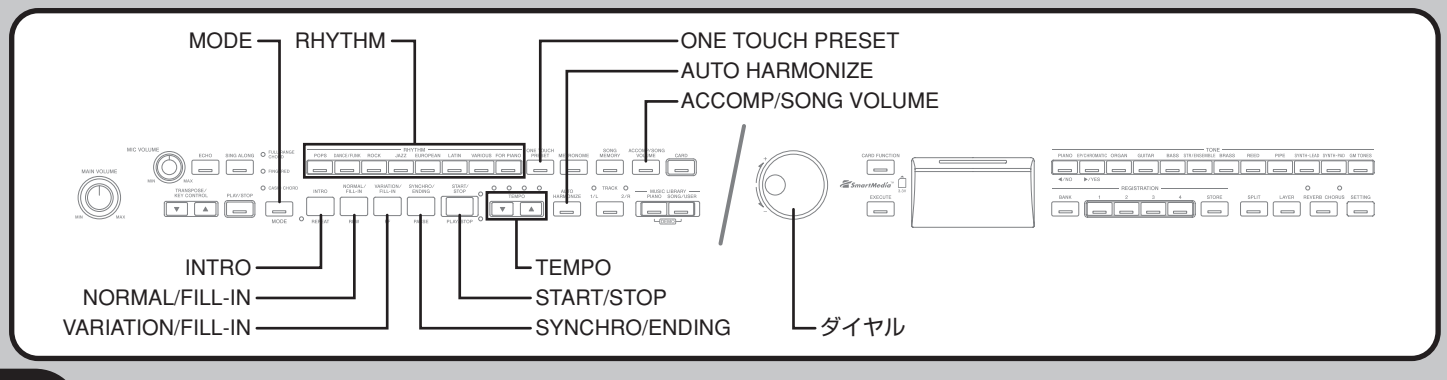
テンポを調節するには

1 **TEMPO**ボタンを押して調節します。



NOTE

- 画面上のテンポ値が[ ]付きで表示されている間は、ダイヤルでも調節できます。
  例：[T=120]
- テンポ値は1分間に演奏される四分音符の数です。
- **TEMPO**ボタンの∧／∨ボタンを同時に押すと、選ばれているリズムのお勧めのテンポになります。

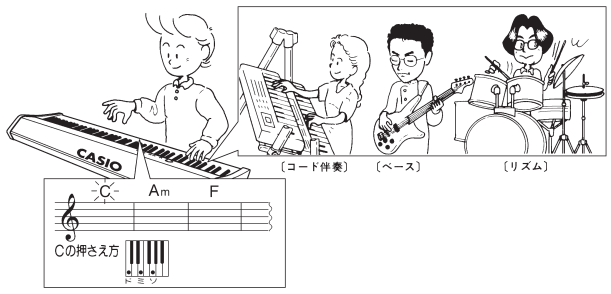


429A-J-010A

AP80R_j_02-15.p65 Page 10 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

自動伴奏を使ってみる

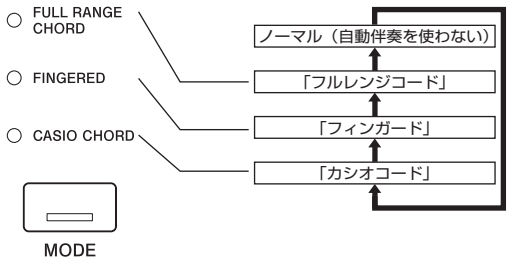
コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。１人でアンサンブル演奏のような楽しさが実現します。



MODEボタンについて

自動伴奏を鳴らすための入口に当たるのが**MODE**ボタンです。**MODE**ボタンを使って、自動伴奏を鳴らすか鳴らさないか、鳴らす場合はどんな方法で鳴らすかを指定します。

MODEボタンを押すごとに、状態が下図のように変わります。



- すべてのランプが消灯している場合は、リズム音だけを鳴らすことができます。
- いずれかのランプが点灯している場合は、点灯しているランプに対応した方法で自動伴奏を鳴らすことができます。それぞれの方法(カシオコード、フィンガード、フルレンジコード)については、本ページ右側以降で詳しく説明します。

自動伴奏を使って演奏してみる

準備

- リズムを選び、テンポを調節しておきます。

1 **MODE**ボタンを押して“カシオコード”“フィンガード”“フルレンジコード”のいずれかのランプを点灯させ、コードの指定方法を選びます。

- ここでは、指一本で指定できるカシオコードを使ってみましょう。
- コードの指定方法について詳しくは、11、12ページをお読みください。

2 **SYNCHRO/ENDING**ボタンを押します。

- 伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を鳴らす状態になります。

3 **INTRO**ボタンを押します。

4 伴奏鍵盤で曲の最初のコードを指定します。

- 右記の「コードの指定方法について」をお読みください。
- 選んだリズムに応じたイントロが鳴り、リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

5 曲のコードを次々と指定します。

- 曲の雰囲気の変わり目で**NORMAL/FILL-IN**ボタンを押すと、リズムが一時的に変化します。
- **VARIATION/FILL-IN**ボタンを押すと、選んでいるリズムのバリエーションに切り替わります。ノーマルパターンに戻すには、**NORMAL/FILL-IN**ボタンを押します。

6 演奏を終わらせるには、**SYNCHRO/ENDING**ボタンを押します。

- 選んだリズムに応じたエンディングが鳴り、リズムとコード伴奏が止まります。

NOTE

- 手順3や6の代わりに**START/STOP**ボタンを押すと、イントロやエンディングなしで伴奏を開始／終了できます。

コードの指定方法について

コードの指定方法によって、モードを選びます。

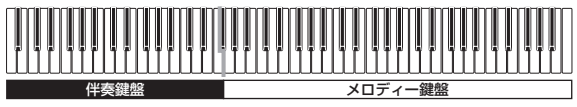
■標準

自動伴奏を使わない場合は、“ノーマル”に設定します。

■カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

コードの種類	例
メジャーコード コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C(C メジャー) 音名→ C D E F G A B C D E F
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm(C マイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7(C セブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7(C マイナーセブンス)

NOTE

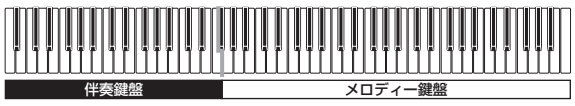
- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

AP80R_j_02-15.p65 Page 11 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

■フィンガードについて

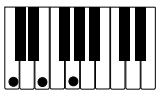
伴奏鍵盤の範囲内で、コードの構成音を押さえることにより、コードを指定する方法です。例えば、ド・ミ・ソと押さえると、Cのコードが指定されます。

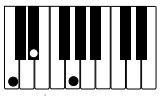
【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】

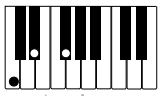


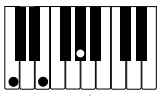
重要

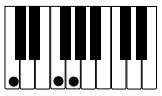
- フィンガードコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

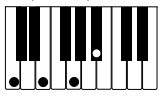
C(メジャー)

ド ミ ソ

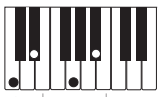
Cm(マイナー)

ド ミ♭ ソ

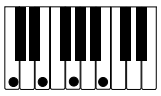
C dim(ディミニッシュ)

ド ミ♭ ファ♯

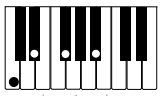
C aug(オーギュメント) ※1

ド ミ ラ♭

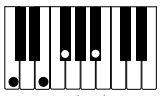
C sus4(サスフォー)

ド ファソ

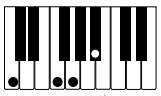
C 7(セブンス) ※2

ド ミ ソ シ♭

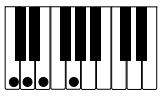
Cm 7(マイナーセブンス) ※2

ド ミ♭ ソ シ♭

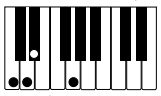
CM 7(メジャーセブンス) ※2

ド ミ ソ シ

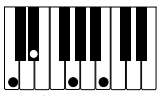
Cm 7♭5 (マイナーセブンス フラットファイブ)

ド ミ♭ ファ♯ シ♭

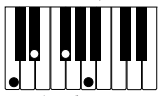
C 7♭5 (セブンス フラットファイブ) ※1

ド ミファ♯ シ♭

C 7sus4(セブンスサスフォー)

ド ファソ シ♭

C add9 (アドナインス)

ドレミ ソ

Cm add9 (マイナーアドナインス)

ドレミ♭ ソ

CmM 7 (マイナーメジャーセブンス) ※2

ド ミ♭ ソ シ

C dim7 (ディミニッシュセブンス) ※1

ド ミ♭ ファ♯ ラ

NOTE

- 根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(45ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

※1：転回形(次の ***NOTE*** を参照)は使えません。最低音が根音となります。

※2：5度のソの音を押さえなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方(例えばCを「ドミソ」と押さえる)だけでなく、転回形(コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる)も有効です。
  ･･･※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
  ･･･※2のコードを除く。

■フルレンジコードについて

この方法で指定できるコードは、フィンガードの15種類に23種類を加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を3つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外(本機が判別できないコードや2つ以下の鍵盤を押している場合)ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

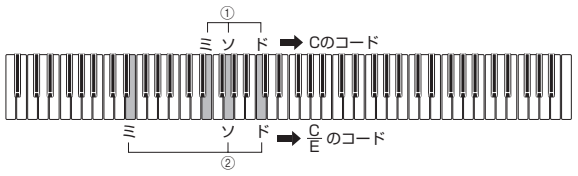
【フルレンジコードの伴奏／メロディー鍵盤】

●本機で判別できるコード

分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類 (左記「フィンガードについて」参照)
それ以外のコード	23種類 以下は、“C”をベース音とした場合の例です。 C6、Cm6、C69、 D♭/C、D/C、E/C、F/C、G/C、A♭/C、B♭/C、 B/C、D♭m/C、Dm/C、Fm/C、Gm/C、Am/C、B♭m/C、 Ddim/C、A♭7/C、F7/C、Fm7/C、Gm7/C、A♭add9/C

(例)Cメジャーの場合

Cメジャーの構成音は、「ド・ミ・ソ」です。
鍵盤で「ド・ミ・ソ」と押さえると、下記のように指定されます。



NOTE

- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。
- 本機の内蔵曲(ピアノグループ曲/ソンググループ曲)には、自動伴奏にはないリズムや伴奏や効果が使用されているため、自動伴奏機能を利用して曲を演奏した場合、内蔵曲と全く同じ演奏を再現することはできません。

429A-J-012A

AP80R_j_02-15.p65 Page 12 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

伴奏／内蔵曲／カードの曲の音量を変えるには

伴奏パートや内蔵曲、カード内の曲データの音量を、通常の演奏とは独立して調節できます。音量の範囲は、最小"000"～最大"127"です。

1 **ACCOMP/SONG VOLUME**ボタンを押します。

＜**RHYTHM**ボタンのランプが点灯している状態＞

```
Accomp Volume:
[127]
```

＜**PIANO**、**SONG/USER**、**CARD**ボタンのいずれかのランプが点灯している状態＞

```
Song Volume:
[127]
```

2 ダイヤルで音量を調節します。

オートハーモナイズを使うには

コード自動伴奏を鳴らしながらメロディー鍵盤を弾いたときに、弾いた音に合わせて自動伴奏のコードの構成音のうちの適切な1音を自動的に付加して、メロディーラインに厚みを出すことができます。これがオートハーモナイズ機能です。
オートハーモナイズを使うには、次の手順で操作します。

1 **MODE**ボタンを押して、カシオコード、フィンガードのいずれかのランプを点灯させ、自動伴奏が使える状態にします。

2 **AUTO HARMONIZE**ボタンを押します。
- ボタンのランプが点灯し、オートハーモナイズがオンの状態になります。

3 ダイヤルを使ってオートハーモナイズの種類を選びます。
- ボタンを押してから数秒内にダイヤル操作を行わないと、通常の状態に戻ります。
- 種類については、次項の「オートハーモナイズの種類について」を参照してください。

```
Auto Harmonize Type:
[Duet1]
```

4 自動伴奏をスタートさせ、メロディー鍵盤で演奏してください。
- メロディー演奏に対して、「ハーモナイズ音」が付加されます。

5 オートハーモナイズをオフにするには、**AUTO HARMONIZE**ボタンを押してください。
- ボタンのランプが消灯します。

NOTE
- 「フィンガード」、「カシオコード」のいずれかのモードに設定されている場合のみ、オートハーモナイズが有効になります。
- ミュージックライブラリーやスマートメディアを使用しているときは、オートハーモナイズ機能が無効になります。

オートハーモナイズの種類について

オートハーモナイズ機能は、次の12種類の中から選択することができます。

種類	効果
Duet1	演奏したメロディー音の下に、クローズな(3～5度程度離れた)1声のハーモニー音を加えます。
Duet2	演奏したメロディー音の下に、オープンな(4～7度以上離れた)1声のハーモニー音を加えます。Duet1よりオープンハーモニーになります。
Country	カントリーの演奏に適したハーモニーを加えます。
Octave	オクターブ下のノートを加えます。
5th	5度上のノートを加えます。
3-Way Open	2声(ユーザー演奏と合わせて3声)のオープンハーモニーを加えます。
3-Way Close	2声(ユーザー演奏と合わせて3声)のクローズハーモニーを加えます。
Strings	ストリングス演奏に適したハーモニーを加えます。
4-Way Open	3声(ユーザー演奏と合わせて4声)のオープンハーモニーを加えます。
4-Way Close	3声(ユーザー演奏と合わせて4声)のクローズハーモニーを加えます。
Block	ブロックコード音を加えます。
Big Band	ビックバンド演奏に適したハーモニーを加えます。

ワンタッチプリセットを使うには

ワンタッチプリセットとは、各リズムパターンごとに、そのリズムに良くマッチした音色やテンポ設定などを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。
ワンタッチプリセットでは、次の設定がリズムパターンごとにあらかじめ設定されています。

- 鍵盤の音色と音量
- レイヤー、スプリットのオン／オフ
- レイヤー、スプリットがオンの場合のその音色と音量
- テンポ
- エフェクト設定
- ハーモナイズ設定

ワンタッチプリセットの操作手順

1 リズムを選択します。

2 **MODE**ボタンを押して、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかのランプを点灯させ、自動伴奏が使える状態にします。

3 **ONE TOUCH PRESET**ボタンを押します。
- 鍵盤の音色やテンポなどが、現在選択されているリズムに対応した設定にセットされ、シンクロ待機の状態になります。

4 伴奏鍵盤でコードを指定します。
- リズムと自動伴奏が同時にスタートします。
- ワンタッチプリセットによる設定での演奏ができます。

レジストレーション機能を使ってみましょう

レジストレーション機能でできること

本機で演奏するとき、曲に応じて音色、リズムの種類、テンポなどの設定を行います。こうしたさまざまな設定を一括して登録（レジストレーション）しておいて、後からボタンひとつで呼び出せるようにすることができます。登録は16セット（4セット×4バンク）まで可能です。

登録できる内容

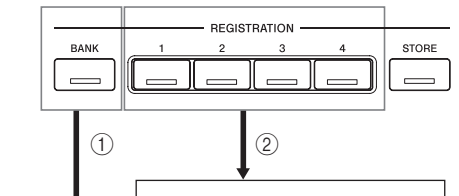
- 音色の選択
- リズムの選択
- テンポの設定
- レイヤーの設定
- スプリットの設定
- スプリットポイントの設定
- オートハーモナイズの設定
- エフェクトの設定
- モードボタンの設定

NOTE

- レジストレーションの各バンクにはあらかじめデータが入っています。
- ミュージックライブラリー、スマートメディアを使っているときは、レジストレーション機能は使用できません。

登録の単位について

各種の設定は、**BANK**ボタンと、1～4の4つの**REGISTRATION**ボタンを使って選べる16個のエリア（下表の1-1～4-4）に対して登録します。

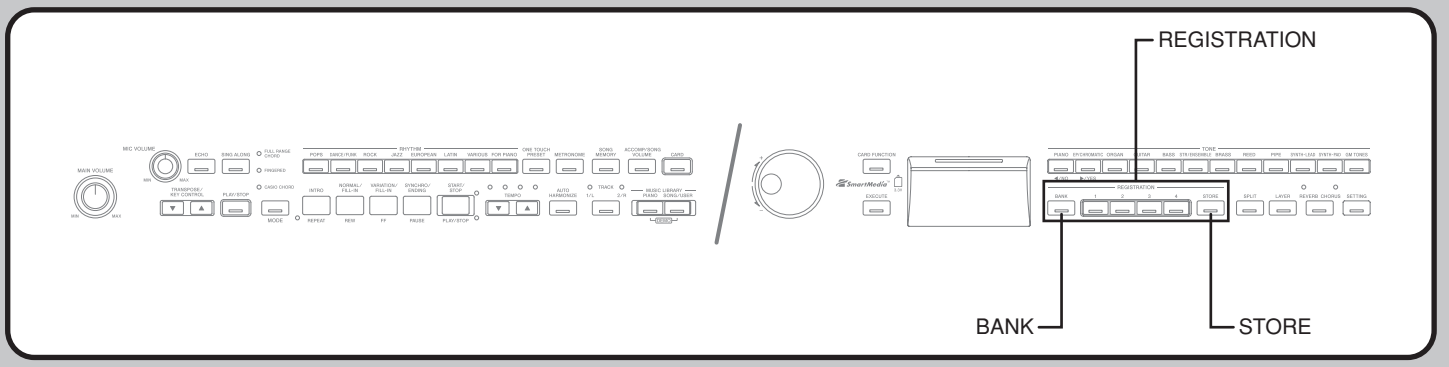


	1	2	3	4
バンク 1	1-1	1-2	1-3	1-4
バンク 2	2-1	2-2	2-3	2-4
バンク 3	3-1	3-2	3-3	3-4
バンク 4	4-1	4-2	4-3	4-4

①**BANK**ボタンを押すごとに、バンク1からバンク4の間で切り替わります。
②1～4のいずれかの**REGISTRATION**ボタンを押すと、現在選択されているバンクに対応したエリアを選択できます。

NOTE

- あるエリアに新しく登録した時点で、そのエリアの前の登録内容は消えます。
- 登録内容は、スマートメディアに保存することができます。詳しくは、28ページの「カードを使うには」を参照してください。



429A-J-014A

AP80R_j_02-15.p65 Page 14 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

登録するには

1 本機の音色、リズムの選択や、各種の設定を行います。
- 「登録できる内容」(14ページ)を参照してください。

2 **BANK**ボタンを押して、登録したいバンクを選択します。
- ボタンを押してから5秒間そのままにしておくと、操作1に戻ります。

<バンク1を選択した場合>

```
                Bank
                  1
```

3 **STORE**ボタンを押しながら、登録したいエリア(1～4)に対応した**REGISTRATION**ボタンを押し、登録します。
- このとき、**STORE**ボタンを押しながら、**BANK**ボタンで登録するバンクを変更できます。

<2のボタンを押した場合>

```
Store           Bank    Area
                  1  -    2
```

4 **REGISTRATION**ボタンと**STORE**ボタンを離します。

NOTE
- 上記の操作3で登録エリアを確定した時点で、そのエリアに以前に登録されていた内容は、新しい内容で上書きされます。

登録した設定を呼び出すには

1 **BANK**ボタンを押して、呼び出したいバンクを選択します。
- ボタンを押してから5秒間そのままにしておくと、元の表示に戻ります。

```
                Bank
                  1
```

2 呼び出したいエリア(1～4)に対応した**REGISTRATION**ボタンを押します。
- 呼び出したエリアと“Recall”の文字が表示された後、音色またはリズム選択の画面に戻ります。

```
Recall          Bank    Area
                  1  -    2
```

NOTE
- 上記の操作1を省略すると、以前に選択したバンクが自動的に選択されます。

レジストレーション機能で本体内蔵のメモリーに保存した内容は、電源を切った後も保持されます(4、46ページ参照)。

AP80R_j_02-15.p65 Page 15 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

曲の自動演奏を楽しむには

本機は80種類の自動演奏曲を内蔵しています。その中からお好きな曲を選んで、聴いたり、練習したり、歌ったりできます。内蔵曲は、次のように2つのグループにわかれています。

- ピアノグループ：50曲
  ピアノ曲です。
- ソnggグループ：30曲
  自動伴奏曲です。マイクを接続してカラオケモードにしたときは、ボーカル曲として歌うことができます。

また内蔵曲のほかに、ダウンロード曲やカード内のSMFデータ曲(18ページ参照)を鳴らして楽しむことができます。

ピアノグループの曲を聴いてみましょう

ピアノグループリストは、巻末に記載されています(43ページ)。

準備

- **ACCOMP/SONG VOLUME**ボタン(13ページ)を調節します。

1 **PIANO**ボタンを押して、ピアノグループを選びます。
- **PIANO**ボタンが点灯します。

NOTE
- レイヤー、スプリット機能が自動的にオフになります。

2 ダイヤルで、曲を選びます。
例：“46 アメージング・グレイス”

```
Grand Piano          T=064
[ 46: AmazingGrace]
```

3 **PLAY/STOP**ボタンを押すと、演奏が始まります。

4 **PLAY/STOP**ボタンを押すと、演奏が止まります。
- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

ソnggグループの曲を聴いてみましょう

ソnggグループリストは、巻末に記載されています(43ページ)。

準備

- **ACCOMP/SONG VOLUME**ボタン(13ページ)を調節します。

1 **SONG/USER**ボタンを押して、ソングモードにします。
- **SONG/USER**ボタンが点灯します。

2 ダイヤルで、曲を選びます。
例：“28 さくら さくら”

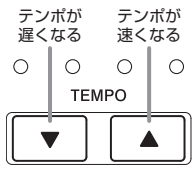
```
GM Syn-Voice         T=074
[ 28: SakuraSakura]
```

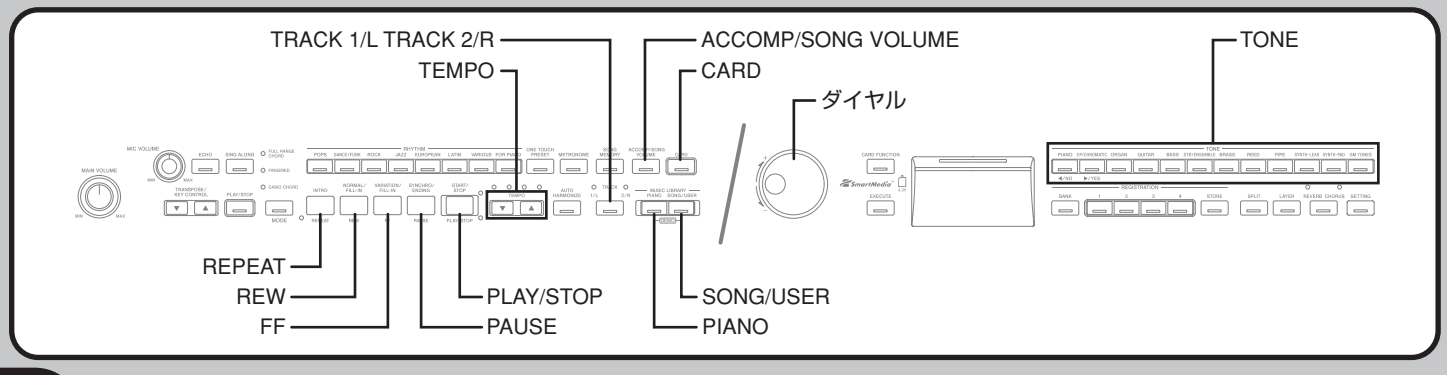
3 **PLAY/STOP**ボタンを押すと、自動演奏が始まります。

4 **PLAY/STOP**ボタンを押すと、自動演奏が止まります。
- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

テンポを調節するには

1 **TEMPO**ボタンでテンポを調節します。





429A-J-016A

AP80R_j_16-27.p65 Page 16 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

NOTE
- 画面上のテンポ値が[ ]付きで表示されている間は、ダイヤルでも調節できます。
  例：[T=120]
- テンポ値は1分間に演奏される四分音符の数です。
- **TEMPO**ボタンの∧／∨ボタンを同時に押すと、現在選ばれている曲のおすすめのテンポに戻ります。
- ピアノグループの曲をおすすめのテンポで演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。テンポを調節すると、一定のテンポで演奏します。

曲を一時停止するには

1 曲の演奏中に**PAUSE**ボタンを押します。
- 曲の演奏が止まります。

2 もう一度、**PAUSE**ボタンを押すと、曲が止まった位置から演奏を再開します。

曲を早戻しするには

1 曲の演奏中に**REW**ボタンを押し続けます。
- 1小節単位で早戻しを始めます。
- 早戻し中の小節数と拍数を表示します。

2 **REW**ボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE
- 再生処理の都合上、**REW**ボタンを押してから早戻しが始まるまでに、時間のかかることがあります。

曲を早送りするには

1 曲の演奏中に**FF**ボタンを押し続けます。
- 1小節単位で早送りを始めます。
- 早送り中の小節数と拍数を表示します。

2 **FF**ボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

フレーズを繰り返し聴くには

曲の演奏中に小節単位で、特定のフレーズ(区間)を繰り返し再生させることができます。

1 曲の再生中に、リピートの開始点にしたい小節で**REPEAT**ボタンを押します。
- **REPEAT**ボタンのランプが点滅します。

2 リピートの終点(折り返し点にしたい小節)で、もう一度**REPEAT**ボタンを押します。
- リピート演奏が始まります。
- リピートを解除するには、もう一度**REPEAT**ボタンを押して、**REPEAT**ボタンのランプを消灯させます。

メロディーの音色を変えるには

本機には248種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。音色の変更は、曲の演奏中でも、一時停止中でも行えます。

1 **TONE**ボタンを押します。

2 ダイヤルで音色を選びます。

NOTE
- 同じ曲をもう一度選び直すと、あらかじめその曲に設定されている音色に戻ります。

全曲を通して聴くには

80種類の内蔵曲を、すべて通して聴くことができます。

1 **PIANO**ボタンと**SONG/USER**ボタンを同時に押します。
- ピアノグループの00番の曲からソnggループ曲の順に、すべての曲を通して自動演奏します。

2 **PLAY/STOP**ボタンを押して、自動演奏を停止します。

NOTE
- 全曲を通して聴いているとき、ダイヤルを使ってお好きな曲を選んで聴けます。

AP80R_j_16-27.p65 Page 17 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ユーザーソングについて

インターネットでダウンロードした曲をパソコンから転送し、ユーザーソングとして本機に保存できます(最大10曲：ソンググループNo.30～39)。ユーザーソングは、内蔵曲と同じ操作で再生できます。

1 **SONG/USER**ボタンを押します。
- **SONG/USER**ボタンのランプが点灯します。

2 ダイヤルで、再生したい曲を選びます。

3 **PLAY/STOP**ボタンを押します。
- 選んだ曲が再生されます。
- 再生を止めるには、もう一度**PLAY/STOP**ボタンを押します。

CARDボタンを使うには

本機のカードスロットにSMF※データ入りのカードを差し込めば、内蔵曲以外にお好きな曲を再生したり、一緒に歌ったりできます。カードについての詳細は、29ページの「ファイルの保存について」を参照してください。

※Standard MIDI Fileの略。電子楽器の自動演奏データの代表的形式の名称。パソコン用の市販音楽ソフトで、市販の曲データをカードに保存すれば、本機で利用できます。

重要
- 操作を行う前に、28ページの「カードを使うには」をお読みになり、必ずカードスロットの使い方やカードについての注意事項をご確認ください。

準備
- 再生したいSMFデータの入ったカードを用意し、本機のカードスロットにしっかり装着します。

1 **CARD**ボタンを押します。
- **CARD**ボタンのランプが点灯します。

2 ダイヤルで、再生したい曲を選びます。

3 **PLAY/STOP**ボタンを押します。
- 選んだ曲が再生されます。
- 再生を止めるには、もう一度**PLAY/STOP**ボタンを押します。

NOTE
- 本体のメモリ容量が足りない場合、ソンググループのユーザーエリア(NO.30 ～ 39)へ保存されているすべての曲データの削除確認メッセージ(Memory Full:Data Delete? No/Yes)が表示されます。削除するときは**YES**ボタンを、しないときは**NO**ボタンを押してください。

練習してみる

内蔵曲やユーザーソング、SMFデータ※の右手パートまたは左手パートの音を消して、自分で弾く練習ができます。

※SMFデータの3チャンネルのパートが左手パートに、4チャンネルのパートが右手パートに割り当てられます。

準備
- 曲を選び、テンポを設定しておきます。テンポはゆっくりめが良いでしょう。

1 **TRACK**ボタンを押して、音を消したいパートを選びます。
- ボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯／消灯します。消したいパートのランプを消灯させます。

左手パート：トラック1／左手ランプが消灯
右手パート：トラック2／右手ランプが消灯

NOTE
- ソンググループの曲は、右パートの音のみ消すことができます。

2 **PLAY/STOP**ボタンを押します。
- 演奏が始まります。操作1で選んだパートは鳴りません。

3 音を消したパートを自分で弾きます。

4 曲を止めるには、もう一度**PLAY/STOP**ボタンを押します。

429A-J-018A

AP80R_j_16-27.p65 Page 18 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

マイクを使って歌ってみましょう

内蔵の自動演奏曲やカードから呼び出したSMFデータの演奏をバックに、カラオケを楽しむことができます。

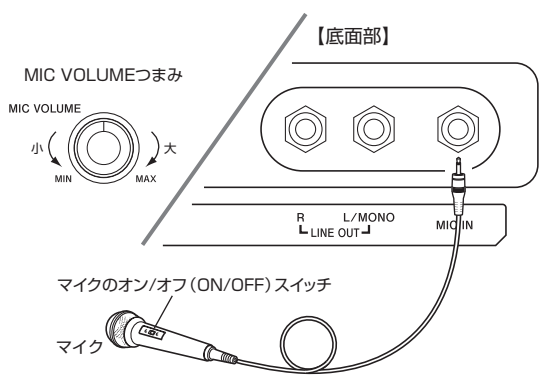
マイク端子について

マイク端子に市販のマイクを接続すれば、自動演奏曲やカードから呼び出したSMFデータの演奏でカラオケが楽しめます。
マイクを接続するときはマイクボリュームを絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

1 マイクを接続するときは**MIC VOLUME**つまみを“小”の方向に絞っておきましょう。

2 マイクのオン/オフ(ON/OFF)スイッチを“オン(ON)”にします。

3 **MIC VOLUME**つまみで適切な音量に調整しましょう。



重要

- **MIDI**端子に外部機器を接続したときに、雑音が入ることもあります。
- マイクを使用しないときは、マイクを**MIC IN**端子から抜いてください。

●マイクの推奨タイプ
ダイナミックマイク(標準プラグ)

●ハウリングについて
下記のようなことを行うと、キーンという音(ハウリング)が発生します。

- マイクを手でおおう。
- マイクをスピーカーに近づける。

このようなときは、マイクの柄の部分を持つようにし、マイクをスピーカーから遠ざければ鳴りやみます。

●ノイズについて
蛍光灯などの近くでマイクを使用するとノイズ(雑音)が発生する場合があります。このような時は、蛍光灯などのノイズを発生させている場所からマイクを離すことでノイズを拾わず、ノイズは鳴らなくなります。

操作手順

準備

- **MAIN VOLUME**つまみ(6ページ)、**ACCOMP/SONG VOLUME**ボタン(13ページ)、**MIC VOLUME**つまみ(19ページ)を調節します。

1 ソンググループリストやカードから曲を選び、番号を確認します。
- ソンググループリストは、巻末に記載されています(43ページ)。

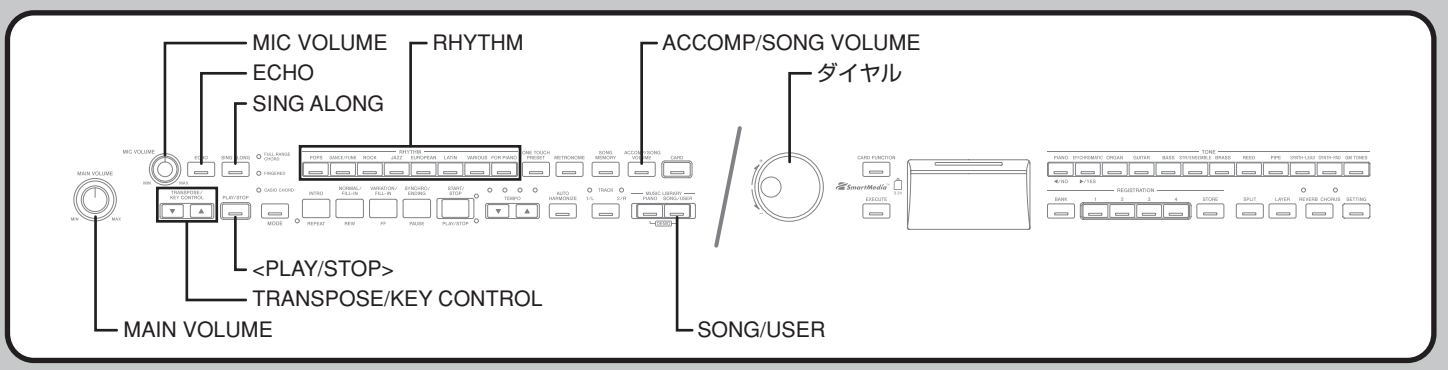
2 **SING ALONG**ボタンを押し、カラオケモードにします。
- **SING ALONG**ボタンが点灯します。

3 カラオケの音源を選びます。

<内蔵曲を使う時>
SONG/USERボタンを押して、ボタンのランプを点灯させます(カラオケ ソングモード)。

<カードを使う時>
CARDボタンを押して、ボタンを点灯させます(カラオケ カードモード)。

4 ダイヤルで曲を選びます。



429A-J-019A

AP80R_j_16-27.p65 Page 19 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

5 **<PLAY/STOP>**ボタンを押すと、演奏が始まります。

- 歌詞のある曲を選んだ場合、画面が歌詞表示に切り替わります。
- マイクを使って、曲にあわせて歌ってみましょう。
- **SING ALONG**ボタンを押すと、メロディーパートの音量が小さくなります。音色も歌のガイドとして聴き易い音色に変更されます。

6 **TRANSPOSE/KEY CONTROL**ボタン(∧／∨)を押して、曲全体の音の高さを変更できます。

∧ ･･･半音単位で音が上がります。
∨ ･･･半音単位で音が下がります。

```
Key Control:
[-12]
```

7 **<PLAY/STOP>**ボタンを押すと、演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。
- **SING ALONG**ボタンを押すと、ボタンが消灯してカラオケモードが解除されます。

NOTE

- 操作6で**TRANSPOSE/KEY CONTROL**ボタンの∧と∨を同時に押すと、“00”になります。

マイクエコーについて

マイクにエコーをかけたり、解除することができます。

1 **ECHO**ボタンを押すごとに、マイクのエコーをオン/オフできます。

- **ECHO**ボタンが消灯すると、エコーはオフの状態になります。

NOTE

- 電源を入れたときは、自動的にエコーはオンの状態になっています。

トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのままで、簡単に音の高さを変えることができます。

1 **RHYTHM**ボタンを押して、リズムモードにします。

- ソングモードあるいはピアノモード中は、トランスポーズ機能を設定できません。

2 **TRANSPOSE/KEY CONTROL**ボタン(∧／∨)で音の高さを設定します。

∧ ･･･半音単位で音が上がります。
∨ ･･･半音単位で音が下がります。
例：5半音上にトランスポーズさせる場合。

```
Transpose:
[+05]
```

- このとき、ダイヤルを使っても設定できます。

NOTE

- トランスポーズの設定範囲は－12(1オクターブ下)～＋12(1オクターブ上)です。
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、メモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。
- 操作2で**TRANSPOSE/KEY CONTROL**ボタンの∧と∨を同時に押すと、“00”になります。

429A-J-020A

AP80R_j_16-27.p65 Page 20 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

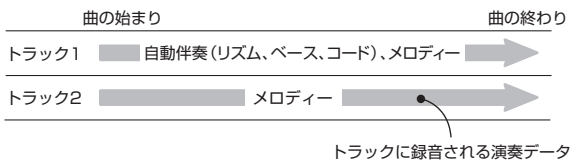
演奏を録音してみる

本機の録音機能(ソングメモリー)には、曲を練習した成果を録音する「指定曲録音」と、鍵盤の演奏をそのまま録音したり自動伴奏を使って録音する「自由曲録音」があります。

本機で録音できる内容とパート／トラックについて

「指定曲録音」と「自由曲録音」で録音できる内容が異なります。

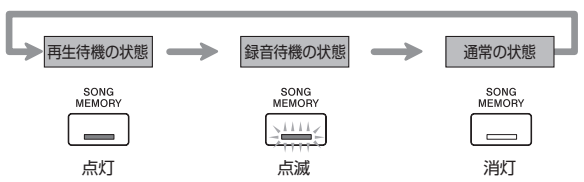
「指定曲録音」：内蔵曲の右手、左手のいずれかのパートを選んで録音できます。
「自由曲録音」：下図のように1曲に対して、異なった演奏内容を2つのトラックに重ねて録音できます。



- それぞれのトラックは独立しているので、弾き間違えて録音しても、そのトラックだけ録音し直すことができます。

SONG MEMORYボタンの使い方

SONG MEMORYボタンを、1回押すごとに以下のように状態が切り替わります。

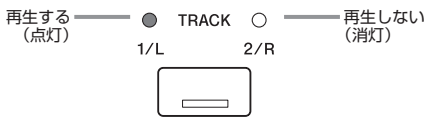


パート／トラックの選択について

パート／トラックの選択状況は、**TRACK**ボタン上の各ランプの状態で確認できます。

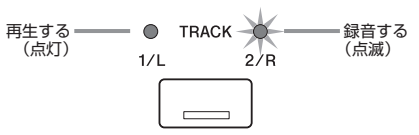
●再生待機の状態

TRACKボタンを押すごとに各パート／トラックを再生するか、再生しないかが切り替わります。



●録音待機の状態

TRACKボタンを押すごとに各パート／トラックの録音待機状態のトラックが切り替わります。



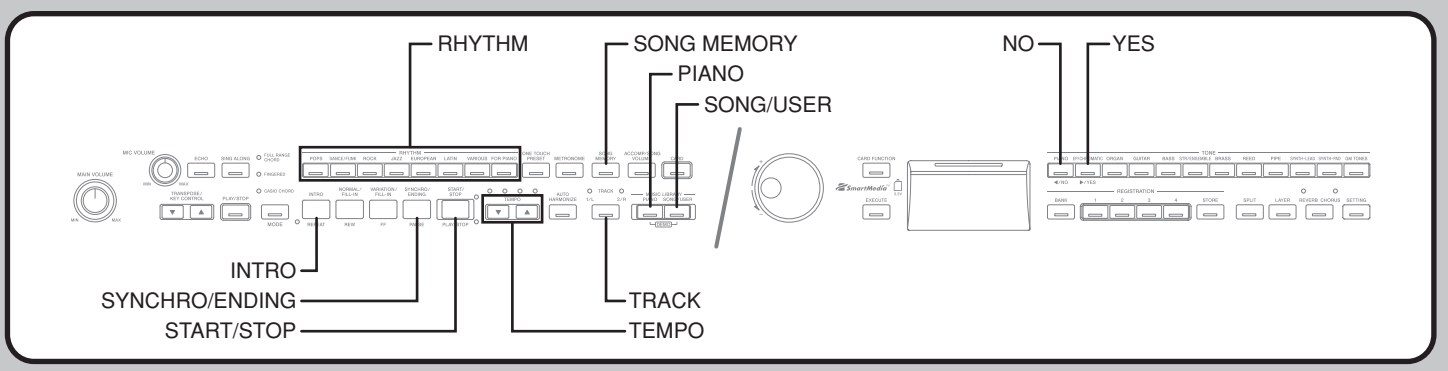
録音できる長さ(メモリー容量)

ソングメモリー機能で録音できる長さは、指定曲録音1曲、自由曲録音1曲の2曲合わせて約5300音符です。1曲で5300音符を使いきってしまうと、2曲目は録音できません。

- 録音中にメモリーの容量がいっぱいになると、録音が自動的に終了します(自動伴奏やリズムを鳴らしているときは、その音も止まります)。

録音内容の保持について

- 新しく録音した時点で、以前の録音内容は消えてしまいます。
- 録音中に電源が切れると、録音中のトラックの内容はすべて消去されます。
- 本機は、メモリーに記録した内容を電源を切った後(メモリー停止中に電源を切った後)も保持するために、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、録音を行った後で本体の電源を切ると同時に録音内容は消去されてしまいます。詳しくは「本機のメモリー内容について」(46ページ)をご覧ください。



429A-J-021A

AP80R_j_16-27.p65 Page 21 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

練習の成果を録音してみましょう（指定曲録音）

本機に内蔵されている曲を選んで練習したパートを、録音して再生すれば、練習の成果を確認できます。
録音を開始すると、選んだパート以外が鳴ります。合わせて弾いてみましょう。

準備

- **SONG/USER**ボタンまたは**PIANO**ボタンを押して、録音に使う曲を選べるモードにしておきます。

1 **SONG MEMORY**ボタンを押して、録音待機の状態にします。
- **SONG MEMORY**ボタンのランプが点滅します。

2 ピアノグループ、ソnggグループの中から、録音する曲を選びます。

3 **TRACK**ボタンを押して、録音するパートを選びます。

4 必要に応じて、次の設定をしておきます。
- 音色設定(6ページ)
- テンポ設定(16ページ)

5 **START/STOP**ボタンを押します。
- 録音が開始されます。

6 鍵盤で演奏します。

7 演奏が終わったら、**START/STOP**ボタンを押します。
- 録音が終了します。

★すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度 ***START/STOP*** *ボタンを押します。*

指定曲録音で記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容が記録されます。

- 音色
- テンポ
- 曲
- 録音パート
- ペダル操作
- レイヤー、スプリットの設定
- リバーブ、コーラスの設定

指定曲録音した演奏を聴いてみましょう

準備

- **SONG MEMORY**ボタンを押して、再生待機の状態にします。

1 **START/STOP**ボタンを押します。
- 録音された演奏内容を再生します。
- **TEMPO**ボタンでテンポを調節することもできます。

2 再生を止めるには、もう一度**START/STOP**ボタンを押します。

演奏をそのまま録音してみましょう（自由曲録音）

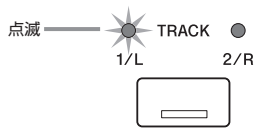
コード伴奏や鍵盤の演奏をそのまま録音してみましょう。

準備

- **RHYTHM**ボタンを押して、リズムモードにしておきます。

1 **SONG MEMORY**ボタンを押して、録音待機の状態にします。
- **SONG MEMORY**ボタンのランプが点滅します。

2 **TRACK**ボタンを押して、トラック1を選びます。



3 必要に応じて、次の設定をしておきます。
- 音色設定(6ページ)
- リズム設定(10ページ)
- モード設定(11ページ)

*★速いテンポで弾くのが苦手な方は、***TEMPO***ボタンを使ってあらかじめテンポを下げておくといいでしょう(16ページ)。*

4 **START/STOP**ボタンを押します。
- 録音が開始されます。

5 鍵盤で演奏します。
- 伴奏鍵盤でコードを指定するとそのコードの自動伴奏がそのまま録音されます。またメロディー鍵盤を弾くと演奏がそのまま録音されます。
- 演奏中にペダルを利用している場合、ペダルの操作もそのまま録音されます。

6 演奏が終わったら、**START/STOP**ボタンで録音を終了します。

★録音中に弾きまちがえたときは、操作 1 からやり直します。
★すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度 ***START/STOP*** *ボタンを押します。*

NOTE
- 自由曲録音で、すでに録音したトラックに再度録音する場合、以前録音されたデータが消えて新しいデータが上書きされます。

自由曲録音でトラック1に記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容がトラックに記録され、録音時のまま再生されます。

- 音色番号
- リズム番号
- リズムコントローラーの操作
- ペダル操作
- レイヤー、スプリットの設定
- スプリットポイント
- テンポ
- リバーブ、コーラスの設定
- オートハーモナイズの設定
- レジストレーションの登録内容
- ワンタッチプリセットの設定

429A-J-022A

AP80R_j_16-27.p65 Page 22 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

トラック１に自由曲録音する場合の応用例

●リズムなしで録音するには

操作4を省略します。

- 鍵盤を押すと同時に、リズムなしで演奏内容が録音されます。

●シンクロスタートで録音を始めるには

操作4の代わりに**SYNCHRO/ENDING**ボタンを押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

●シンクロスタートで前奏から録音を始めるには

操作4の代わりに、**SYNCHRO/ENDING**ボタンと**INTRO**ボタンを続けて押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、コード伴奏付きの前奏と同時に録音がスタートします。

●録音途中から自動伴奏をスタートさせるには

操作4の代わりに**SYNCHRO/ENDING**ボタンを押し、メロディー鍵盤で演奏を始めます。

- 伴奏なしでメロディーの録音を開始します。録音の途中で伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏がスタートします。

●エンディング、フィルインを入れて録音するには

録音中は**SYNCHRO/ENDING**ボタン、**NORMAL/FILL-IN**ボタン、**VARIATION/FILL-IN**ボタンが使用できます。

自由曲録音した演奏を聴いてみましょう

トラックに録音した演奏内容を再生してみましょう。

準備

- **RHYTHM**ボタンを押して、リズムモードにしておきます。
- **SONG MEMORY**ボタンを押して、再生待機の状態にします。

1 **START/STOP**ボタンを押します。

- 録音された演奏内容を再生します。ソングメモリー再生時に**TRACK**ボタンを押すことで、録音された伴奏やメロディーをそれぞれ消して聴くこともできます。
- **TEMPO**ボタンでテンポを調節できます。

2 再生を止めるには、もう一度**START/STOP**ボタンを押します。

NOTE

- ソングメモリーの再生中には**MODE**ボタンの設定にかかわらず、鍵盤がすべてメロディー鍵盤となり、録音した演奏に合わせて弾くことができます。このときスプリットやレイヤー機能(7～8ページ参照)を使えば、異なる音色を鍵盤の左右で分けて弾いたり、異なる音を重ねて演奏することもできます。
- ソングメモリーの再生では一時停止、早送り、早戻しの操作はできません。

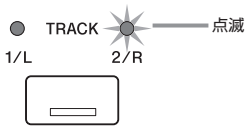
メロディーの演奏を重ねて録音してみましょう(自由曲録音)

トラック1に録音した演奏に合わせ、トラック2にメロディーを重ねて録音してみましょう。

準備

- **RHYTHM**ボタンを押して、リズムモードにしておきます。
- **SONG MEMORY**ボタンを押して、録音待機の状態にします。

1 **TRACK**ボタンを押して、トラック2を選びます。



2 必要に応じて次の設定を行います。

- 音色番号

*★速いテンポで弾くのが苦手な方は、**TEMPO**ボタンを使ってあらかじめテンポを下げておくといいでしょう(16ページ参照)。*

3 **START/STOP**ボタンを押します。

- トラック2の録音を開始します。
- トラック1は再生を始めます。

4 トラック１を聴きながら、メロディーを演奏します。

5 録音が終わったら、**START/STOP**ボタンを押して録音を終了します。

★録音中に弾きまちがえたときは、操作1からやり直します。
*★すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。*

NOTE

- トラック2はメロディー専用のトラックのため、コード伴奏は録音できません。このためトラック2に録音するときは、モードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤はすべてメロディー鍵盤になります。
- 録音済のトラックのメロディーを再生させないで録音したい場合は、あらかじめ、再生待機の状態で録音済のトラックを再生しない状態に設定してから録音待機の状態にして録音を開始してください。ただし、リズムや自動伴奏は消すことはできません。

自由曲録音でトラック2に録音される内容

鍵盤の演奏以外にも以下の内容が録音されます。

- 音色番号
- ペダルの操作

AP80R_j_16-27.p65 Page 23 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

特定のパート／トラックを消去するには

指定曲、自由曲録音した特定のパート／トラックを消去することができます。

準備

＜指定曲録音したパートを消去する場合＞

- **SONG/USER**ボタンまたは**PIANO**ボタンを押しておきます。

＜自由曲録音したトラックを消去する場合＞

- **RHYTHM**ボタンを押しておきます。

1. **SONG MEMORY**ボタンを押して録音待機の状態にします。

2. **TRACK**ボタンを押して、消去したいパート／トラックを選びます。

3. **SONG MEMORY**ボタンを押し続けます。
   - 消去して良いかを確認するメッセージが表示されます。
   - 消去を中止する場合は、**NO**ボタンを押します。

4. 消去して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
   - 消去が実行され、ソングメモリーの再生待機の状態になります。

NOTE

- トラック／パートを消去する状態で**SONG MEMORY**ボタンを押すと、録音待機の状態に戻ります。

ソングメモリー機能で本体内蔵のメモリーに保存した内容は、電源を切った後も保持されます(4、21、46ページ参照)。

429A-J-024A

AP80R_j_16-27.p65 Page 24 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

その他の設定

鍵盤のタッチを変更してみる

鍵盤を弾くときの強弱感度を変更できます。

off　　：オフ
Light　：弱い（弱めに弾いても大きな音、強い音が出る）
Normal：標準
Heavy　：強い（強めに弾いて、標準の音が出る）

```
Touch Select:
[Normal]
```

他の楽器と音程を合わせてみる

本機全体のピッチをA4=440.0Hzから上下50セント（100セント=半音）の範囲で調節できます。

```
Tuning:
[-50]
```

レイヤー音色の音量を調節する

レイヤー機能（7ページ）を利用する場合に、後から重ねた音色の音量を調節できます（−24〜00〜+24）。

```
Layer Balance:
[ 00]
```

液晶表示部のコントラストを調整する

液晶表示のコントラストを調節できます（00〜16）。

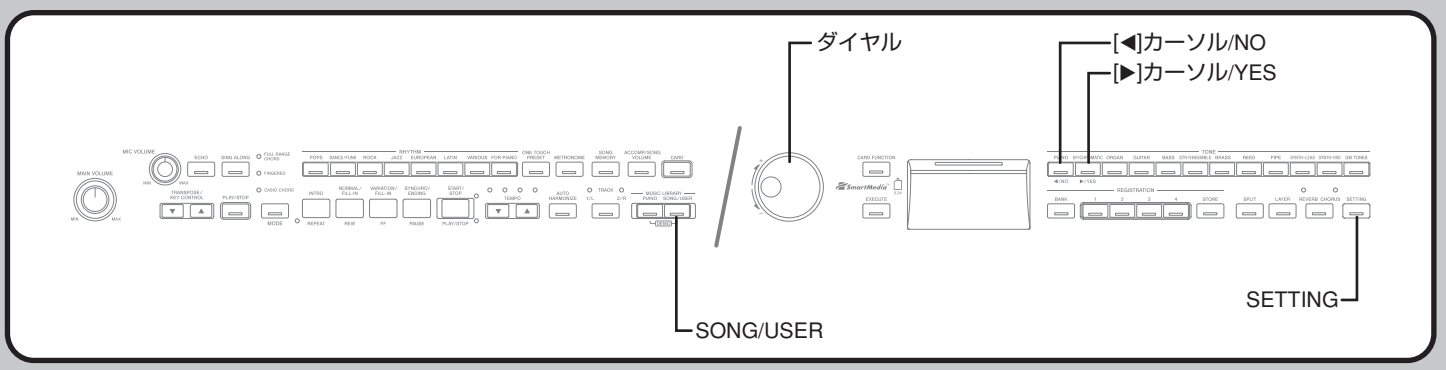
```
Contrast:
[ 16]
```

各設定をするには

1. **SETTING**ボタンを押します。
2. [◀]／[▶]カーソルボタンを使って、設定したい項目の画面を表示させます。
3. ダイヤルで設定値を変更します。
4. 設定後は、**SETTING**ボタンを押します。

NOTE

- 上記操作中、ペダルの設定を変更する画面が出てきますが、本機ではこの設定画面を使用しません。



429A-J-025A

AP80R_j_16-27.p65　Page 25　04.8.26, 3:30 PM　Adobe PageMaker 6.5J/PPC

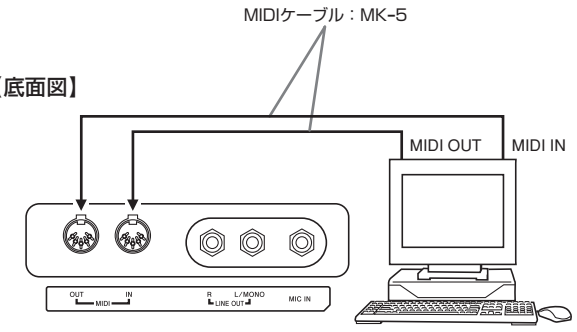
MIDI機能を使ってみる

MIDIについて

電子楽器同士、あるいは電子楽器とパソコンとの間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。

MIDIの接続について

パソコンなどの外部機器に本機の演奏内容を録音／再生する場合は、お互いの**MIDI IN/OUT**同士を接続して、双方向でMIDIメッセージのやり取りができるようにします。



各設定をするには

●送信チャンネルの設定

本機のMIDIメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルを1～16のMIDIチャンネルの中から1つ設定します。

```
Keyboard Channel:
[ 16]
```

●ローカルコントロールの設定

本機の内部で、鍵盤部分と音源部分を電気的に切り離すか、離さないかの設定です。オフにすると、鍵盤と音源が切り離され、鍵盤を弾いても音が鳴らなくなります。外部のシーケンサーなどを使って本機の自動演奏を行う場合に、本体の鍵盤に触れても音を出さないようにできます。

```
Local Control:
[Off]
```

●アカンプMIDIアウトの設定

本機の自動伴奏による演奏をMIDIメッセージとして送信するか、しないかを設定します。

```
Accomp Out:
[Off]
```

1. **SETTING**ボタンを押します。
2. [◀]／[▶]カーソルボタンを使って、設定したい項目の画面を表示させます。
3. ダイヤルで設定値を変更します。
4. 設定後は、**SETTING**ボタンを押します。

パソコンとの接続について

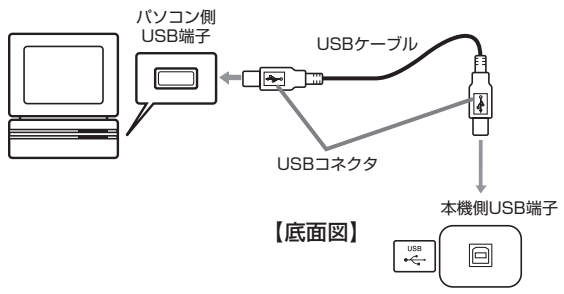
本機とパソコンとの接続は、本機の**USB**端子を使って行うことができます。

USB 端子での接続

USB端子を備えたパソコンと本機の**USB**端子を接続するには、市販のUSBケーブルが必要です。

接続方法

1. **USB**端子を備えたパソコンに、USBドライバをインストールしておきます。
   - ドライバのインストール方法は、付属のドライバCD-ROMのreadme.txt を参照してください。
2. 市販のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。



USBモード・MIDIモードについて

USB接続端子とMIDI端子、どちらの端子を働くようにするかは、本機がUSBモード・MIDIモードのどちらになっているかによります。
本機がUSBモードのときは、データ送受信をUSB端子から行います。
また、本機がMIDIモードのときは、データ送受信をMIDI端子から行います。

USB モード・MIDI モードの設定について

本機とパソコンのUSB端子同士をつなぎ、パソコンにインストールされたUSBドライバとの接続が成立したときには、自動的にUSBモードとなります。そうでない場合(パソコンのUSB端子と接続されていない、パソコンにUSBドライバがインストールされていないなど)には、MIDIモードになります。

429A-J-026A

AP80R_j_16-27.p65 Page 26 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

USBモード時

```
Active Port: USB
```

- 本機の電源を入れる前にUSBを接続した場合には、電源を入れた後、画面に“USB”が表示されます。
  （USBとMIDIを両方接続している場合も、画面に“USB”が表示され、USBモードになります。）
- 本機の動作中にＵＳＢを接続した場合は、画面に約１秒間“USB”が表示され、USBモードになります。

MIDIモード時

```
Active Port: MIDI
```

- 本機の電源を入れる前にMIDIを接続した場合には、電源を入れた後、画面に“MIDI”が表示されます。
- 本機の動作中にＵＳＢを切断した場合は、画面に約１秒間“MIDI”が表示され、MIDIモードになります。

内蔵曲を増やすには

本機では、パソコンから転送した曲データを、ソンググループの30～39番へ保存できます（曲数：最大10曲、容量：約132キロバイト）。
この操作をするために、下記のカシオホームページから必要なアプリケーションソフトをダウンロードして、お手持ちのパソコンへインストールする必要があります。

カシオ・ミュージック・サイト
http://music.casio.co.jp/

各ソフトのインストール方法や使い方、曲データの購入方法、本機との接続などの詳細、最新情報についても、あわせて上記ホームページでご確認ください。

■カシオが提供するサービスを利用する場合
以下のサービスを利用して曲データを本機へ転送し、内蔵曲と同じように聴いたり練習することができます。

- インターネット楽譜配信サービス
  本機では、楽譜表示されません。
- インターネットカラオケ配信サービス
  本機では、歌詞表示されません。

■カシオが提供するツールを利用する場合
ご自身で購入／作成したSMF形式のデータを、カシオ専用の変換ソフトを使ってカシオフォーマットに変換して本機へ転送し、保存／再生できます。

本体内蔵のメモリーに保存した内容は、電源を切った後も保持されます（4、46ページ参照）。

インターネット
楽譜配信サービス
のご案内

130円（税込136円）/
1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、
演歌、ピアノ曲などの
豊富なラインアップ!

Windows
95/98/Me/XP
対応

http://music.casio.co.jp/score

・・・「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます。・・・

お好きな曲をレパートリーに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞つきの楽譜を表示、印刷も可能です。
本体とパソコンをつなげて曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

インターネット
カラオケ配信サービス
のご案内

Windows
98/Me/XP
対応

インターネット・ソングバンク

- ご家庭のパソコンで手軽に本格的なカラオケが楽しめます。
- カラオケソフトは無料！(誰にでも簡単にインストール可)
- 歌詞色変わり表示、カラオケボックス感覚の歌い放題。
- 1時間105円(税抜100円)からのお手軽料金。
- 試聴は無料。

この機会にカラオケソフト(サンプル曲付き)をぜひ、お試しください。

http://music.casio.co.jp/karaoke

ユーザーソングを消去するには

パソコンから転送して本機へ保存したユーザーソングを消去します。

1 **SONG/USER**ボタンを押し続けます。
- 消去する曲を選ぶ画面が表示されます。

```
ML User Song Delete?
[ 30: xxxxxxx]      xxx KB
```

- **NO**ボタンを押すと、**SONG/USER**ボタンを押す前の画面に戻ります。

2 消去する曲をダイヤルを使って選びます。

3 実行して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
- 選んだ曲が消去され、画面上のデータ容量表示が、0キロバイトになります。

AP80R_j_16-27.p65 Page 27 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

カードを使うには

本機では、本体内蔵のメモリーの他にも、カードを使って、本機で作成したデータやパソコンから転送したデータを保存できます。カードへ保存できる内容は、以下の通りです。

＜保存できるファイルの種類＞

種類	画面表示	拡張子
ミュージックライブラリー再生曲	M.L. Song	.CM2
ソングメモリー機能で作成した曲	MemorySong	指定曲録音の場合：.CSM 自由曲録音の場合：.CSR
レジストレーション	Registration	.CR3

カードを使うには

本機には、カードスロットが装備されています。このスロットに「スマートメディア™」※と呼ばれるカードを装着すると、本機に保存してあるダウンロード曲やメモリーソングなどのデータをカードに保存することができます。本機の内蔵メモリーとカードを併用することで、より多くのデータを保存することができます。

スマートメディアは8MBから最大で128MB（本機発売時点）の記憶容量のものまであり、記憶容量の大きいものほど高価になっています。またスマートメディアには電源電圧3.3Vのものと5Vのものとがありますが、本機で使用できるのは3.3Vのものです。

スマートメディアは切手サイズながら、フロッピーディスクの8倍から100倍程度の記憶容量があり、読み書きのスピードも非常に高速です。スマートメディアは一般の家電販売店、コンピュータ専門店などで購入することができます。

※スマートメディア™ は（株）東芝の商標です。

NOTE

- 本書では、メモリーカードを本体ボタン名等と統一して「カード」と記載します。

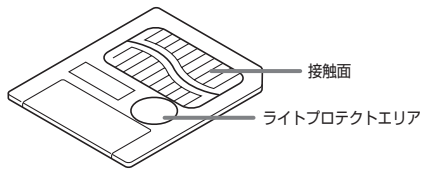
カードについて

重要

- カードは必ず3.3V仕様で、以下の記憶容量のものをお使いください。
  8MB・16MB・32MB・64MB・128MB

⚠注意

- 5V仕様のカードは使用できません。
- ライトプロテクトエリアにライトプロテクトシールがはられていると、保存・削除・ファイル名変更ができません。



カードとカードスロットの取り扱い上の注意

重要

●カードの取扱い時は、カードに付属の取扱説明書の注意事項をお守りください。

●以下のような場所での保管、使用は避けてください。カード上のデータが壊れる場合があります。
- 高温多湿、腐食性のある場所
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい場所

●カードの抜き差し時、接触面に直接触れないでください。

●本機がカードとデータをやり取りしているとき（保存、読み出し、削除中）は、カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。カード上のデータが壊れたり、カードスロットが故障したりする場合があります。

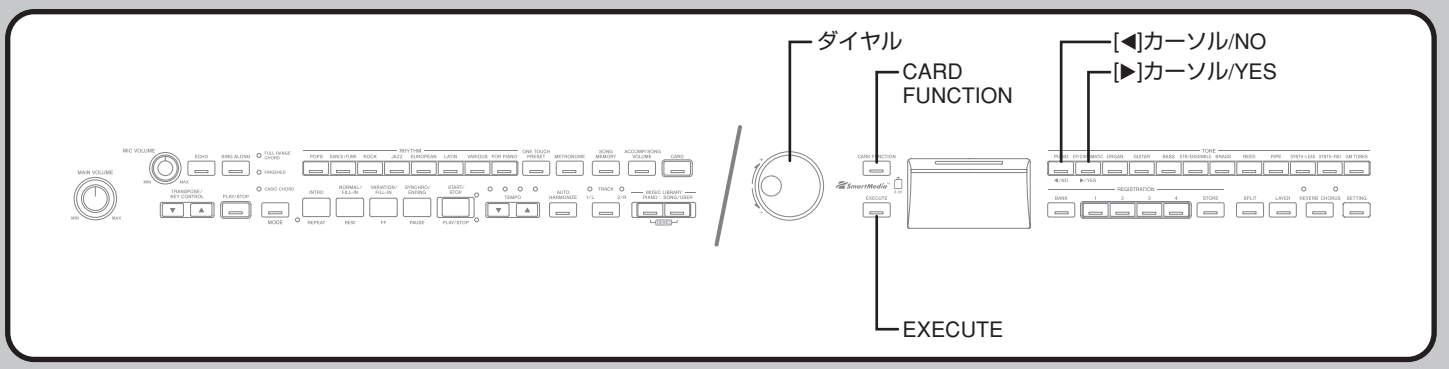
●カードスロットには、指定のカード以外は決して入れないでください。故障の原因となります。

●静電気を帯びたカードを本機のカードスロットに入れると、本機が誤作動する場合があります。このような場合は、一度本機の電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

●長時間使用した後、取り出したカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

●カードには寿命があります。長時間使用するうちに保存や読み出し、削除ができなくなります。その場合は、新しいカードをお買い求めください。

＊カードに保存した内容の消失、障害については、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

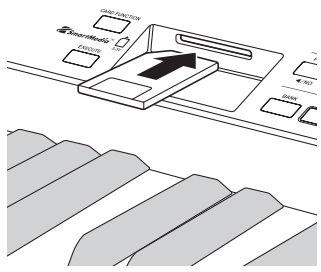


429A-J-028A

AP80R_j_28-32.p65 Page 28 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

カードの入れ方

カードの接触面を下向きにして、カードスロット(挿入口)に差し込みます。カードがスロットの奥に当たって止まるまで、しっかりとまっすぐに入れてください。



NOTE

- スマートメディアカードをカードスロットに挿入するときは、カードを水平にして確実に入れるようにしてください。

カードの取り出し方

あらかじめ、本機がカードにアクセス中※でないことを確認した上で、カードを引き抜いてください。

※**CARD**ボタンまたは**CARD FUNCTION**ボタンのランプが点灯している時

重要

- 本機がカードとデータをやり取りしているとき(保存、読み出し、削除中)は、カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。カード上のデータが壊れたり、カードスロットが故障したりする場合があります。

ファイルの保存について

保存できるデータについては、28ページの<保存できるファイルの種類>を参照してください。

準備

- フォーマット済みのカードを用意し、本機のカードスロットにしっかり装着します。このときカードのライトプロテクトシールをはがして、書き込み可能な状態にしておいてください。

NOTE

- カードと本体とでデータをやり取りする場合、完了まで数分から十数分かかることがあります(時間はデータの種類や容量によって異なります)。データをやり取りしている間は、画面上に"Please Wait"(実行中)というメッセージが表示されます。

重要

- カードによるデータの保存や呼出中は、一切本機の操作は行わないでください。誤った操作により、本機の内蔵メモリーやカードの記憶内容が消えたり、損傷を受け、呼び出せなくなる恐れがあります。

ファイルを保存するには

1. **CARD FUNCTION**ボタンを押します。
   - ボタンのランプが点灯します。
2. ダイヤルを使って、"Save"(保存)操作メニューを選択します。
3. [▶]カーソルボタンを押して、ファイルの種類を選ぶ画面に移ります。

■保存元のファイルを選ぶ

4. ダイヤルを使って、保存するファイルの種類を選択します。
5. [▶]カーソルボタンを押して、次の画面に移ります。
6. ダイヤルを使って、保存するファイルを選択します。
   ミュージックライブラリー再生曲：ユーザーソングの番号／曲名
   ソングメモリー機能で作成した曲：
   自由曲録音の曲(Rhythm Mem)、指定曲録音の曲(ML MEM)
   レジストレーション：バンクの番号
7. 保存するファイルが決まったら、[▶]カーソルボタンを押して、次の画面に移ります。

■保存先での名前や形式を決める

8. ファイル名を入力します。
   - ダイヤルを使って、カーソル位置の文字を入力できます。入力できる文字については、31ページの「入力できる文字について」を参照してください。
   - [◀]／[▶]カーソルボタンを使って、カーソル位置を移動できます。
9. ファイル名が決まったら、**EXECUTE**ボタンを押します。
   - データを保存して良いかを確認するメッセージが画面上に表示されます。カード内に同じ名前のデータが既にある場合は、上書きして良いかを確認するメッセージが表示されます。

■保存を実行する

10. 保存を実行して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
    - 画面上に"Please Wait"(実行中)というメッセージが表示されます。この間は、一切本機の操作は行わないでください。保存が終わると、操作2の画面に戻ります。
    - 保存を中止したい場合は、**NO**ボタンを押すと、操作8の画面に戻ります。
11. カードの使用を終了するには、**CARD FUNCTION**ボタンを押して、ボタンのランプを消灯させます。

AP80R_j_28-32.p65 Page 29 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ファイルの呼び出し

カードに書き込みしたデータを本機に呼び出すことができます。

重要

●パソコン上でコピーしたデータを本機で再生する場合は、以下の点にご注意ください。

- カード上のSMFデータを再生する準備として、パソコンからカードにSMFデータをコピーしておきます。パソコンのスマートメディアスロットに本機上でフォーマットしたカードを挿入し、“CASIO_MD”というフォルダの中に再生させたいSMFデータをパソコンからコピーします。データを“CASIO_MD”の中にコピーしないと本機では再生できません。CASIO_MDの中にフォルダを作成した場合は、その作成したフォルダの中のファイルは読めません。
- 全角文字を使ったファイル名は本機では表示できません。パソコンからカードにデータをコピーするとき、ファイル名には半角文字をご使用ください。

準備

- 呼び出したいデータが入っているカードを用意し、本機のカードスロットにしっかり装着します。

NOTE

- カードと本体とでデータをやり取りする場合、完了まで数分から十数分かかることがあります（時間はデータの種類や容量によって異なります）。データをやり取りしている間は、画面上に“Please Wait”（実行中）というメッセージが表示されます。

重要

- カードによるデータの保存や呼び出し中は、一切本機の操作は行わないでください。誤った操作により、本機の内蔵メモリーやカードの記憶内容が消えたり、損傷を受け、呼び出せなくなる恐れがあります。

ファイルを呼び出すには

1. **CARD FUNCTION**ボタンを押します。
   - ボタンのランプが点灯します。
2. ダイヤルを使って、“Load”（呼び出し）操作メニューを選択します。

■カード内の呼び出すファイルを選ぶ

3. [▶]カーソルボタンを押して、ファイルの種類を選ぶ画面に移ります。
4. ダイヤルを使って、呼び出すファイルの種類を選択します。
5. [▶]カーソルボタンを押して、ファイル名を選ぶ画面に移ります。
6. ダイヤルを使って、呼び出すファイル名を選択します。
7. [▶]カーソルボタンを押して、次の画面に移ります。

■楽器本体のメモリー内の呼び出し先を選ぶ

8. ダイヤルを使って、ファイルの呼び出し先を選択します。
   ミュージックライブラリー再生曲：ユーザーソングの番号／曲名
   ソングメモリー機能で作成した曲：
   自由曲録音の曲（Rhythm Mem）、指定曲録音の曲（ML MEM）
   レジストレーション：バンクの番号
9. 呼び出し先が決まったら、**EXECUTE**ボタンを押します。
   - データを呼び出して良いかを確認するメッセージが画面上に表示されます。

■呼び出しを実行する

10. 呼び出しを実行して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
    - 画面上に“Please Wait”（実行中）というメッセージが表示されます。この間は、一切本機の操作は行わないでください。呼び出しが終わると、操作2の画面に戻ります。
    - 呼び出しを中止したい場合は、**NO**ボタンを押すと、操作8の画面に戻ります。
11. カードの使用を終了するには、**CARD FUNCTION**ボタンを押して、ボタンのランプを消灯させます。

ファイル名の変更

カード上に保存したファイル名を以下の操作で変更することができます。

準備

- 名前を変更したいファイルが入っているカードを用意し、本機のカードスロットにしっかり装着します。このときカードのライトプロテクトシールをはがして、書き込み可能な状態にしておいてください。

ファイル名を変更するには

1. **CARD FUNCTION**ボタンを押します。
   - ボタンのランプが点灯します。
2. ダイヤルを使って、“Rename”（名前の変更）操作メニューを選択します。
3. [▶]カーソルボタンを押して、ファイルの種類を選ぶ画面に移ります。
4. ダイヤルを使って、名前を変更するファイルの種類を選択します。
5. [▶]カーソルボタンを押して、ファイル名を選ぶ画面に移ります。
6. ダイヤルを使って、名前を変更するファイル名を選択します。

429A-J-030A

AP80R_j_28-32.p65 Page 30 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

7 [▶]カーソルボタンを押して、ファイル名を入力する画面に移ります。
- ダイヤルを使って点灯中のカーソル位置の文字を入力できます。入力できる文字については、31ページの「入力できる文字について」を参照してください。
- [◀]／[▶]カーソルボタンを使って、カーソル位置を移動できます。

8 ファイル名を変更したら、**EXECUTE**ボタンを押します。
- 名前を変更して良いかを確認するメッセージが画面上に表示されます。

9 ファイル名変更を実行して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
- 画面上に“Please Wait”（実行中）というメッセージが表示されます。この間は、一切本機の操作は行わないでください。変更が終わると、操作2の画面に戻ります。
- ファイル名変更を中止したい場合は、**NO**ボタンを押すと、操作7の画面に戻ります。

10 カードの使用を終了するには、**CARD FUNCTION**ボタンを押して、ボタンのランプを消灯させます。

ファイルの削除

カード上の任意のファイルを一つずつ削除することができます。

重要
- 削除したファイルは元に戻すことができません。本当に削除しても良いか必ずご確認ください。

準備
- 削除したいファイルが入っているカードを用意し、本機のカードスロットにしっかり装着します。このときカードは、ライトプロテクトシールをはがして、書き込み可能な状態にしておいてください。

ファイルを削除するには

1 **CARD FUNCTION**ボタンを押します。
- ボタンのランプが点灯します。

2 ダイヤルを使って、“Delete”（削除）操作メニューを選択します。

3 [▶]カーソルボタンを押して、ファイルの種類を選ぶ画面に移ります。

4 ダイヤルを使って、削除するファイルの種類を選択します。

5 [▶]カーソルボタンを押して、ファイル名を選ぶ画面に移ります。

6 ダイヤルを使って、削除するファイル名を選択します。

7 削除したいファイルが決まったら、**EXECUTE**ボタンを押します。
- ファイルを削除して良いかを確認するメッセージが画面上に表示されます。

8 削除を実行して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
- 画面上に“Please Wait”（実行中）というメッセージが表示されます。この間は、一切本機の操作は行わないでください。削除が終わると、操作2の画面に戻ります。
- 削除を中止したい場合は、**NO**ボタンを押すと、操作5の画面に戻ります。

9 カードの使用を終了するには、**CARD FUNCTION**ボタンを押して、ボタンのランプを消灯させます。

カードのフォーマット

カードのフォーマットを以下の手順で実行できます。

重要
- すでにデータが書き込まれているカードをフォーマットすると、それまでに書き込まれていたデータはすべて完全に消去され、二度と元に戻すことができません。以下の操作を行う前に、本当にフォーマットしても良いかを必ずよくご確認ください。

準備
- フォーマットしたいカードを用意し、本機のカードスロットにしっかり装着します。このときカードのライトプロテクトシールをはがして、書き込み可能な状態にしておいてください。

カードをフォーマットするには

1 **CARD FUNCTION**ボタンを押します。
- ボタンのランプが点灯します。

2 ダイヤルを使って、“Format”（フォーマット）操作メニューを選択します。

3 **EXECUTE**ボタンを押します。
- フォーマットを実行して良いかを確認するメッセージが画面上に表示されます。

4 フォーマットを実行して良い場合は、**YES**ボタンを押します。
- 画面上に“Please Wait”（実行中）というメッセージが表示されます。この間は、一切本機の操作は行わないでください。フォーマットが完了すると、操作2の画面に戻ります。
- フォーマットを中止したい場合は、**NO**ボタンを押すと、操作2の画面に戻ります。

5 カードの使用を終了するには、**CARD FUNCTION**ボタンを押して、ボタンのランプを消灯させます。

入力できる文字について

カード上にファイルを保存するときにデータ名に使用できる文字は、以下の通りです。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	_			

AP80R_j_28-32.p65 Page 31 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

カード使用時のエラーについて

表示	原因	解決方法
Err Card R/W	カードが壊れている。	他のカードをお使いください。
Err CardFull	セットしたカードにデータを保存するための空き領域が無い。	1. 新しいカードをお使いください。 2. 不要なファイルが保存されている場合には、そのファイルを削除してください。(31ページ)
Err No Card	1. カードが正しくセットされていない。 2. カードが挿入されていない。または、操作途中に抜き差しした。	1. カードをカードスロットに正しく挿入してください。(29ページ) 2. カードを挿入してください。操作途中には、カードを抜き差ししないでください。
Err FileName	1. 既に同一名のファイルがカード上にある。 2. MS-DOSとして扱えない名称のファイル名を選択した。	1. 別の名前でファイルを保存してください。(30ページ) 2. 入力可能な文字でファイル名を変更してください。(31ページ)
Err ReadOnly	読み込み専用ファイルと同じ名前で保存しようとしている。	他のカードに保存するか、別の名前に変えて保存してください。
Err Format	1. セットされているカードのフォーマットが、本機指定の形式と異なっている。 2. フォーマットされていない(新品の)カードがセットされている。 3. カードが壊れている。	1. 指定フォーマットのカードをお使いください。(28ページ) 2. カードをフォーマットしてください。(31ページ) 3. 他のカードをお使いください。
Err Mem Full	データを読み込む為の本体の空き領域が不足している。	1. 呼び出そうとしているファイルに対応した呼び出し先から、使わないデータを削除してください。 2. ソングメモリーの場合には消去してよいソングを消去してください。(24ページ)
Err Not SMF0	フォーマット0ではないSMF(スタンダードMIDIファイル)を読み込もうとした。	フォーマット0のＳＭＦをお使いください。
Err No File	本機で使用できるファイルが保存されていないカードを、読み込もうとした。	本機で保存したデータか、本機用に作成されたデータの入ったカードをお使いください。
Err Protect	書き込み禁止のカードに、保存しようとした。	1. 他のカードをお使いください。 2. そのカードに書き込んでも良ければ、ライトプロテクトシールをはがして、書き込み可能にしてください。(28ページ)
Err WrongDat	データ形式として正しくない。または、カードのデータが壊れている。	他のデータまたは他のカードをお使いください。
Err SizeOver	データのサイズが132キロバイト以上だった。	サイズが132キロバイト以下のデータを選び直す。
Err No Data	何も入っていないユーザーソングを保存しようとした。	データの入っているユーザーソングを選んでください。

429A-J-032A

AP80R_j_28-32.p65 Page 32 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

資料

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	1. **MAIN VOLUME**つまみが“MIN”の位置にある。 2. ヘッドホンがつながっている。 3. ローカルコントロールの設定がオフになっている。 4. モードの設定が“カシオコード”や“フィンガード”になっているときは、伴奏鍵盤で通常の鍵盤演奏ができません。	1. **MAIN VOLUME**つまみを“MAX”の方に動かす。 2. ヘッドホンを**PHONES**端子から抜く。 3. ローカルコントロールの設定をオンにする。 4. モードを“ノーマル”に設定する。	☞ 6 ページ ☞ 5 ページ ☞ 26 ページ ☞ 11 ページ
ピッチがずれて聴こえる。	1. 調の設定が“C”以外になっている。 2. 音程が正しく設定されていない。	1. 調の設定を“C”にする。または、電源を入れ直す。 2. 音程を正しく設定する。または、電源を入れ直す。	☞ 20 ページ ☞ 25 ページ
デモ演奏を始めたが音が出ない。	1. **MAIN VOLUME**つまみが“MIN”の位置にある。 2. ヘッドホンがつながっている。	1. **MAIN VOLUME**つまみを“MAX”の方に動かす。 2. ヘッドホンを**PHONES**端子から抜く。	☞ 6 ページ ☞ 5 ページ
メモリーの内容が消えてしまう。	リチウム電池が消耗している。	カシオテクノ・サービスステーションに連絡して、リチウム電池を入れ替える。	☞ 46 ページ
鍵盤を押しても、外部のMIDI音源の音が出ない。	1. 本機の送信チャンネルと外部のMIDI音源のチャンネルが一致していない。 2. 外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定が“0”になっている。	1. 本機と外部のMIDI音源の送信チャンネルを一致させる。 2. 外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定を適切な値にする。	☞ 26 ページ ☞ 外部音源の取扱説明書
自動伴奏の音が鳴らない。	伴奏の音量設定が“000”になっている。	**ACCOMP/SONG VOLUME**ボタンを使って伴奏の音量を上げる。	☞ 13 ページ
鍵盤を弾く強弱で音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	**SETTING**ボタンを使ってオンの状態にする。	☞ 25 ページ
他の MIDI 楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が“00”以外になっている。	**TRANSPOSE/KEY CONTROL**ボタンまたは**SETTING**ボタンでトランスポーズとチューニングの設定を“00”にする。	☞ 20, 25 ページ
自動伴奏やリズムが録音できない。	録音トラックにトラック 2 を指定している（トラック 2 はメロディー専用トラックです）。	録音待機の状態からトラック指定ボタンでトラック 1 を選ぶ。	☞ 21 ページ
コンピュータと MIDI 接続しているとき、鍵盤を弾くと発音が不自然になる。	コンピュータ側の MIDI スルー機能がオンになっている。	コンピュータ側の MIDI スルー機能をオフにするか、本機の設定ボタンでローカルコントロールをオフにする。	☞ 26 ページ

現象	原因	解決方法	参照
コード伴奏の演奏情報をコンピュータに録音できない。	アカンプMIDIアウトがオフになっている。	**SETTING**ボタンでアカンプMIDIアウトをオンにする。	☞ 26ページ
マイクの音が出ない。	1. マイクの音量が絞られている。 2. マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチがオフ(OFF)になっている。	1. マイクの音量を上げる。 2. マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチをオン(ON)にする。	☞ 19ページ
マイクを使っているときに雑音が入る。	蛍光灯などのノイズ源が近くにある。	ノイズ源からマイクを離す。	☞ 19ページ
カードにデータを保存できない。	1. カードにプロテクトがかかっている。 2. カードスロットに正しく挿入されていない。 3. カードの空き領域が足りなくなっている。 4. 本機で使用できない電圧・記憶容量のカードを使用している。 5. カードが壊れている。	1. ライトプロテクトシールをはがす。 2. 正しく挿入し直す。 3. 新しいカードを入れるか、ファイルを削除する。 4. 指定の電圧・記憶容量のカードを使用する。 5. 新しいカードを入れる。	☞ 28ページ ☞ 29ページ ☞ 31ページ ☞ 28ページ
カードからデータを呼び出しできない。	1. カードスロットに正しく挿入されていない。 2. 呼び出し先エリアの空き領域が足りない。 3. 本機で使用できない電圧・記憶容量のカードを使用している。 4. カードが壊れている。	1. 正しく挿入し直す。 2. 本体メモリに保存されているダウンロード曲、ソングメモリー機能で保存したデータのどれかを削除して、メモリの空き領域を増やす。 3. 指定の電圧・記憶容量のカードを使用する。 4. 新しいカードを入れる。	☞ 29ページ ☞ 24、27ページ ☞ 28ページ
ヘッドホンの片側からしか音が出ない。	ヘッドホンのプラグが**PHONES**端子に根元までしっかり挿入されていない。	ヘッドホンのプラグを根元までしっかり挿入する。	☞ 5ページ

429A-J-034A

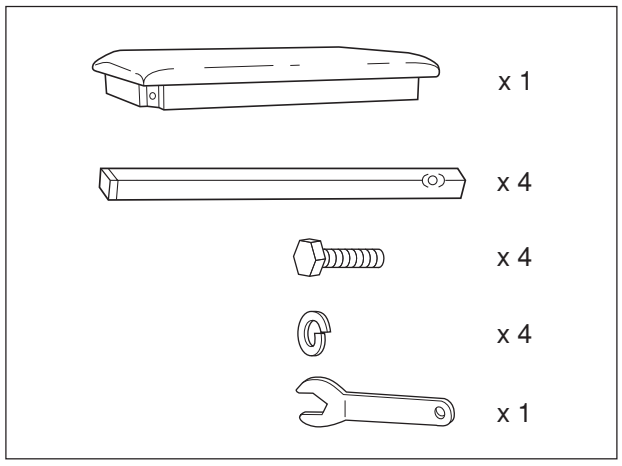
AP80R_j_33-47.p65 Page 34 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

イスの組み立てかた

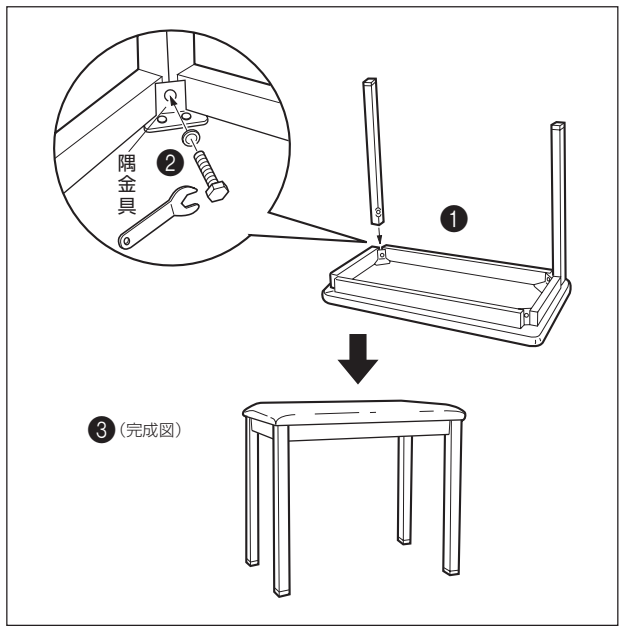
⚠注意

- イスで遊んだり、踏台にしたりしないでください。イスを遊び道具や踏台にすると、イスが倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- イスには二人以上で腰掛けないでください。同時に二人以上で使用すると、姿勢やイスに無理が生じ、けがの原因となることがあります。

部品をご確認ください



組み立てかた

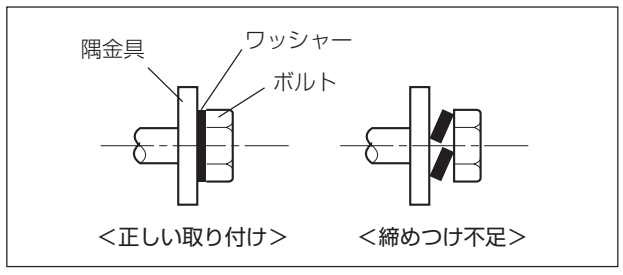


1 イスの座る面を下にして、安定した場所に置きます。（❶）

2 脚を取り付けます。

- ボルトをワッシャーに通し、隅金具の穴に入れ、専用スパナでしっかりと締め付けます。（❷）

※このとき、必ず、ワッシャーとボルトのすき間がなくなるまで、締め付けてください。



⚠注意

- ボルトがゆるんできた場合は、専用スパナでしっかりと締め直してください。ボルトがゆるんだ状態で使用すると、ぐらつき、大変危険です。

3 イスを立てます。（❸）

取り扱い上のご注意

- 直射日光に当てたり、ストーブ等のそばに置くと、変色・変形する場合がありますので、ご注意ください。
- 不安定な床での使用は、故障等の原因になりますので、ご注意ください。

AP80R_j_33-47.p65 Page 35 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

スタンドの組み立てかた

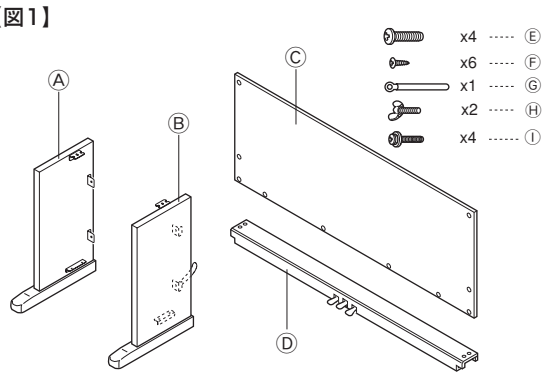
⚠注意

- 脚部、ペダル部の取り付けや、ピアノ本体をスタンドに乗せる際、手などをはさまないようにご注意ください。
- 組み立てを行う際、ピアノ本体のスライド式キーボードカバーを完全に閉めるようにしてください。組み立ての際、開いていたカバーが閉まり、ピアノ本体とカバーとの間に指をはさむことがあり、危険です。

重要

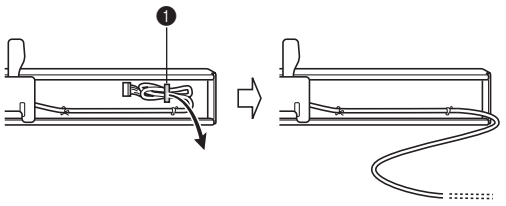
- 組み立ては、必ず平らな場所で行なってください。
- 組み立て用の工具は付属しておりません。あらかじめ大きめのプラス(＋)ドライバーをご用意ください。

【図1】



- 最初にⒶ～Ⓘの部品がそろっていることをご確認ください(図1)。
  ネジ類はビニール袋にまとめて、ダンボール緩衝材の中にあります。

【図2】

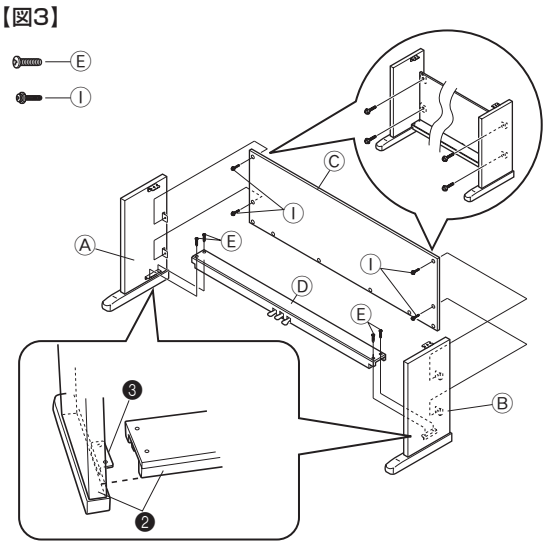


- スタンドの組み立てを始める前に、横木Ⓓの裏側にある❶の留めバンドをといて、ペダル接続用のコードを引き出します(図2)。

1. スタンドを組み立てます

以下の1～3の順序で行なってください。

【図3】



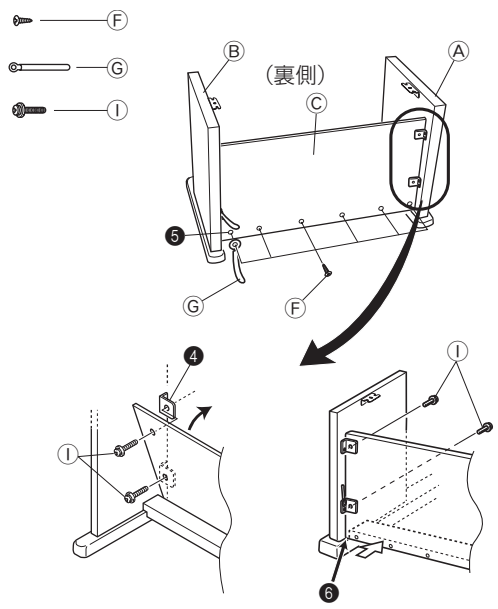
1 横木Ⓓを側板Ⓐ、Ⓑに取り付けます。取り付けには、ネジⒺを4本使用します(図3)。

- ❷の部分を取り付けるときは、横木Ⓓの溝へ側板に取り付けた金具❸をはめ込みます。奥までしっかりはめ込まれていないと、金具❸とネジⒺが正しくかみあわず、ネジ山がつぶれることがあります。

429A-J-036A

AP80R_j_33-47.p65 Page 36 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

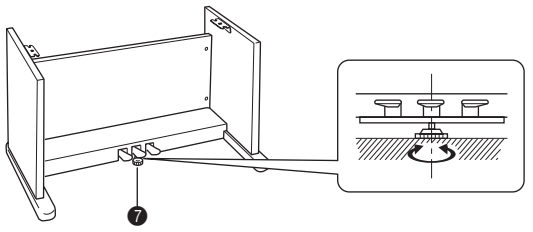
【図4】



2 背板Ⓒを金具❹、横木Ⓓに取り付けます。金具❹に対して背板Ⓒ が前にくるように取り付けます(図4)。取り付けには、ネジⒾを4本、ネジⒻを6本、クリップⒼを1本使用します(図3、図4)。

- はじめに、左右上端をネジⒾで取り付けます。❺の部分を取り付けるときは、ネジⒻをクリップⒼの穴に通してください。
- 背板Ⓒを側板Ⓐ、Ⓑの脚の部分にのせ(❻の部分)、横木Ⓓに押し付けた状態でネジⒾを取り付けてください。

【図5】



3 高さ調節ネジ❼で、ペダルを踏み込んだ時にスタンドの横木Ⓓが沈まない所までネジ❼の高さを調節してください(図5)。

重要

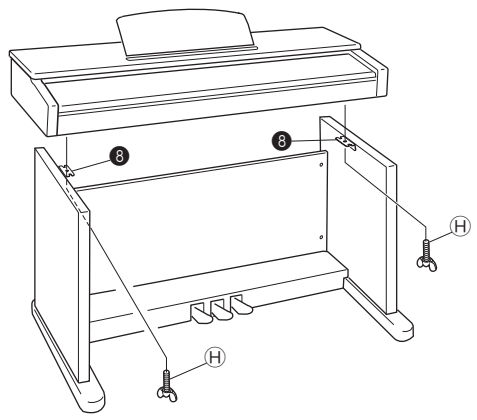
- 高さ調節ネジ❼を調節せずにペダル操作を行なうと、横木Ⓓがこわれることがあります。高さ調節ネジ❼は必ず調節してください。

2. ピアノ本体をスタンドに取り付けます

⚠注意

- ピアノ本体とスタンドの間に、手をはさまないようにご注意ください。

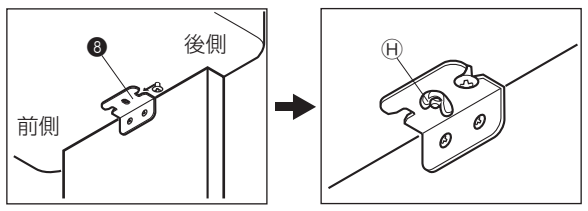
【図6】



蝶ネジⒽでピアノ本体をスタンドにしっかりと固定します(図6)。

- このとき、本体底面のネジを金具❽の切り欠きの部分に引っかけ、蝶ネジⒽで本体とスタンドを固定します(図7)。

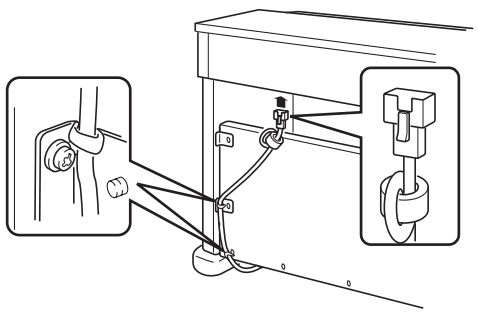
【図7】



- この蝶ネジは、ピアノ本体がスタンドからずれたり落ちたりするのを避けるために、必ず取り付けてください。

3. ペダルのプラグをピアノ本体に接続します

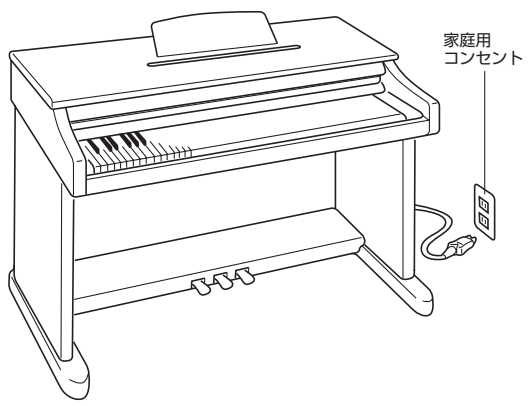
【図8】



ペダルのプラグをイラストと同じ向きにして、ピアノ本体底面のペダルコネクタに差し込み、ペダルのコードをクリップで固定します(図8)。

4. 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます

【図9】



1 ピアノ本体の電源ボタンがオフの状態になっているのを確認してください。もしオンになっていたら、ボタンを押してオフの状態にしてください。

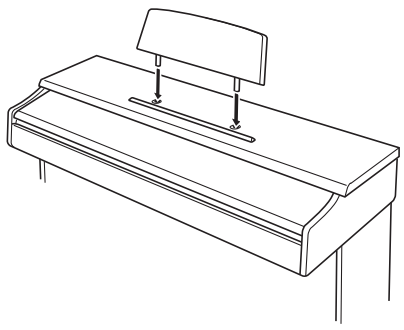
2 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます(図9)。

⚠注意

- スタンドのネジが温度、湿度の変化や振動などの影響でゆるんでいないか、時々点検してください。ゆるんでいたら、再度ネジをしっかりと締め直してください。
- いつでも電源プラグが抜けるよう、電源プラグに手が届く場所で本機をお使いください。

譜面立ての立てかた

譜面立ては、本体の上面にある2つの穴にその脚を差し込んでお使いください。



429A-J-038A

AP80R_j_33-47.p65 Page 38 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

製品仕様

型式	AP-80R
鍵盤	88鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス付き
同時発音数	最大32音
音色	120パネル音色＋128GM音色＋10ドラムセット(レイヤー、スプリット付き)
エフェクト	リバーブ(4種)、コーラス(4種)
メトロノーム	• 拍子：0, 2, 3, 4, 5, 6 • テンポ範囲：20～255
自動伴奏	• リズム数：120 • テンポ範囲：20～255 • モード：標準、カシオコード、フィンガード、フルレンジコード • 伴奏の音量：調節可 • ワンタッチプリセット：リズムごとの推薦音色、テンポ、レイヤーのオン／オフ、ハーモナイズのオン／オフなど • オートハーモナイズ：12種類：自動伴奏のコード指定に従いメロディー音にハーモナイズ音を付加
ミュージックライブラリー	• 曲数： ピアノグループ50曲＋ソンググループ30曲＋10ダウンロード曲(合計約132キロバイト) • テンポ範囲：20～255 • デモ：全曲(80内蔵曲)リピート再生 • 曲の音量：調節可
練習機能	練習パート：左手、右手
ソングメモリー	• 曲数：2曲(指定曲：1曲、自由曲：1曲) • 録音内容：指定曲：右手パート、左手パート 自由曲：トラック1(コード伴奏)、トラック2(メロディー) • 録音方法：リアルタイム録音 • メモリー容量：約5300音符(2曲合計)
ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
レジストレーション機能	エリア数：16エリア(4セット×4バンク)
その他の機能	• タッチセレクト：3種類、オフ • トランスポーズ：1オクターブ(F♯～C～F) • チューニング：A4＝440.0Hz±50セント(可変) • LCD：コントラスト設定可
カードスロット	3.3Vスマートメディア™
MIDI	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
入出力端子	• PHONES端子： ステレオ標準ジャック×2 出力インピーダンス170Ω 出力電圧1.1V(RMS)MAX • LINE OUT [R] [L/MONO] 端子： 標準ジャック×2 出力インピーダンス2.3KΩ 出力電圧1.0V(RMS)MAX • MIC IN端子： 標準ジャック 入力インピーダンス3.3KΩ 入力感度10mV • MIDI [OUT] [IN] 端子 • USB端子
スピーカー	φ16cm×2＋φ5cm×2 (出力20W＋20W)
電源	AC100V (50、60Hz)
消費電力	42W
サイズ	• 本体のみ：幅138.0×奥行47.6×高さ24.4cm • 本体＋スタンド：幅138.1×奥行47.7×高さ84.6cm
重量	• 本体のみ：41.6kg • 本体＋スタンド：54.0kg
付属品	ペダル付きスタンド、イス、譜面立て、ヘッドホン、取扱説明書(本書)、保証書、楽譜集

• 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
イス	CB-5 CB-7 CB-9BN CB-20LB
MIDI ケーブル	MK-5

• 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店(全国の有名楽器店、デパートなど)で、お求めになれます。

トーンリスト

＜項目名＞
① 音色グループ名　② No.　③ 音色名　④ プログラムチェンジ　⑤ バンクセレクトMSB　⑥ 最大同時発音数

●パネル音色

①	②	③	④	⑤	⑥
PIANO	000	STEREO PIANO	0	2	16
	001	GRAND PIANO	0	1	32
	002	MELLOW PIANO	0	3	16
	003	ROCK PIANO	1	2	16
	004	DANCE PIANO	1	1	16
	005	HONKY-TONK	3	2	16
	006	OCTAVE PIANO	3	8	16
	007	PIANO PAD	0	8	16
	008	HARPSICHORD	6	2	16
	009	COUPLED HARPSICHORD	6	8	16
E.PIANO/CHROMATIC	000	ELEC.PIANO 1	4	2	32
	001	ELEC.PIANO 2	4	1	16
	002	DYNO ELEC.PIANO	4	3	32
	003	FM ELEC.PIANO	5	2	16
	004	60'S E.PIANO	4	4	32
	005	CHORUSED EP	4	9	16
	006	E.PIANO PAD	5	8	16
	007	ELEC.GRAND PIANO	2	2	32
	008	MODERN E.G.PIANO	2	3	16
	009	CLAVI	7	2	32
	010	VIBRAPHONE	11	2	32
	011	MARIMBA	12	2	32
	012	CELESTA	8	2	32
	013	GLOCKENSPIEL	9	2	32
ORGAN	000	DRAWBAR ORGAN 1	16	2	32
	001	DRAWBAR ORGAN 2	16	1	16
	002	PERC.ORGAN 1	17	2	16
	003	PERC.ORGAN 2	17	3	16
	004	ELEC.ORGAN 1	16	8	16
	005	ELEC.ORGAN 2	16	4	16
	006	JAZZ ORGAN	17	4	16
	007	ROCK ORGAN	18	2	16
	008	CHURCH ORGAN	19	2	32
	009	CHAPEL ORGAN	19	8	32
	010	ACCORDION	21	2	16
	011	OCTAVE ACCORDION	21	8	16
	012	BANDONEON	23	2	16
	013	HARMONICA	22	2	32
GUITAR	000	NYLON STR.GUITAR	24	2	32
	001	STEEL STR.GUITAR	25	2	32
	002	12 STR.GUITAR	25	8	16
	003	JAZZ GUITAR	26	2	32
	004	OCT JAZZ GUITAR	26	8	16
	005	CLEAN GUITAR	27	2	32
	006	ELEC.GUITAR	27	1	16
	007	MUTE GUITAR	28	2	32
	008	OVERDRIVE GT	29	2	32
	009	DISTORTION GT	30	2	32
	010	FEEDBACK GT	31	8	16
BASS	000	ACOUSTIC BASS	32	2	32
	001	RIDE BASS	32	32	16
	002	FINGERED BASS	33	2	32
	003	PICKED BASS	34	2	32
	004	FRETLESS BASS	35	2	32
	005	SLAP BASS	37	2	32
	006	SAW.SYNTH-BASS	38	2	32
	007	SQR SYNTH-BASS	39	2	32

①	②	③	④	⑤	⑥
STRINGS/ENSEMBLE	000	STRINGS	48	2	32
	001	SLOW STRINGS	49	2	32
	002	CHAMBER	48	3	16
	003	SYNTH-STRINGS 1	50	2	32
	004	SYNTH-STRINGS 2	51	2	32
	005	CHOIR AAHS	52	2	32
	006	CHOIRS	52	8	32
	007	VOICE DOO	53	2	32
	008	SYNTH-VOICE	54	2	32
	009	SYNTH-VOICE PAD	54	8	16
	010	VIOLIN	40	2	32
	011	CELLO	42	2	32
	012	PIZZICATO STRINGS	45	2	32
	013	HARP	46	2	32
BRASS	000	TRUMPET	56	2	32
	001	TROMBONE	57	2	32
	002	TUBA	58	2	32
	003	MUTE TRUMPET	59	2	32
	004	FRENCH HORN	60	2	16
	005	BRASS	61	2	32
	006	BRASS SECTION	61	3	16
	007	BRASS SFZ	61	8	16
	008	ANALOG SYNTH-BRASS	62	8	16
	009	SYNTH-BRASS 1	62	2	16
	010	SYNTH-BRASS 2	63	2	16
REED	000	ALTO SAX 1	65	1	16
	001	ALTO SAX 2	65	2	32
	002	BREATHY A.SAX	65	8	16
	003	TENOR SAX 1	66	1	16
	004	TENOR SAX 2	66	2	32
	005	BREATHY T.SAX	66	8	16
	006	T.SAXYS	66	9	16
	007	SOPRANO SAX	64	2	32
	008	BARITONE SAX	67	2	32
	009	OBOE	68	2	32
	010	CLARINET	71	2	32
PIPE	000	FLUTE 1	73	2	32
	001	FLUTE 2	73	1	16
	002	MELLOW FLUTE	73	8	16
	003	PICCOLO	72	2	32
	004	RECORDER	74	2	32
	005	PAN FLUTE	75	2	32
	006	WHISTLE	78	2	32
SYNTH-LEAD	000	SQUARE LEAD	80	2	16
	001	SAWTOOTH LEAD	81	2	16
	002	MELLOW SAW LEAD	81	8	16
	003	SINE LEAD	80	8	32
	004	CALLIOPE	82	2	16
	005	VOICE LEAD	85	2	16
	006	BASS+LEAD	87	2	16
SYNTH-PAD	000	FANTASY	88	2	16
	001	WARM PAD	89	2	16
	002	WARM VOX	89	8	16
	003	POLYSYNTH	90	2	16
	004	POLY SAW	90	8	16
	005	BOWED PAD	92	2	16
	006	HALO PAD	94	2	16
	007	ATMOSPHERE	99	2	16
	008	BRIGHTNESS	100	2	16
	009	ECHO PAD	102	2	16
	010	STAR THEME	103	2	16
	011	SPACE PAD	103	8	16
	012	NEW AGE	88	1	16

429A-J-040A

AP80R_j_33-47.p65 Page 40 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

＜項目名＞
① 音色グループ名　② No.　③ 音色名　④ プログラムチェンジ　⑤ バンクセレクトMSB　⑥ 最大同時発音数

●GM音色／ドラムセット

①	②	③	④	⑤	⑥
GM TONES	000	GM PIANO 1	0	0	32
	001	GM PIANO 2	1	0	32
	002	GM PIANO 3	2	0	32
	003	GM HONKY-TONK	3	0	16
	004	GM E.PIANO 1	4	0	32
	005	GM E.PIANO 2	5	0	16
	006	GM HARPSICHORD	6	0	32
	007	GM CLAVI	7	0	32
	008	GM CELESTA	8	0	32
	009	GM GLOCKENSPIEL	9	0	32
	010	GM MUSIC BOX	10	0	16
	011	GM VIBRAPHONE	11	0	32
	012	GM MARIMBA	12	0	32
	013	GM XYLOPHONE	13	0	32
	014	GM TUBULAR BELL	14	0	32
	015	GM DULCIMER	15	0	16
	016	GM ORGAN 1	16	0	16
	017	GM ORGAN 2	17	0	16
	018	GM ORGAN 3	18	0	16
	019	GM PIPE ORGAN	19	0	16
	020	GM REED ORGAN	20	0	32
	021	GM ACCORDION	21	0	16
	022	GM HARMONICA	22	0	32
	023	GM BANDONEON	23	0	16
	024	GM NYLON STR.GUITAR	24	0	32
	025	GM STEEL STR.GUITAR	25	0	32
	026	GM JAZZ GUITAR	26	0	32
	027	GM CLEAN GUITAR	27	0	32
	028	GM MUTE GUITAR	28	0	32
	029	GM OVERDRIVE GT	29	0	32
	030	GM DISTORTION GT	30	0	32
	031	GM GT HARMONICS	31	0	32
	032	GM ACOUSTIC BASS	32	0	32
	033	GM FINGERED BASS	33	0	32
	034	GM PICKED BASS	34	0	32
	035	GM FRETLESS BASS	35	0	32
	036	GM SLAP BASS 1	36	0	32
	037	GM SLAP BASS 2	37	0	32
	038	GM SYNTH-BASS 1	38	0	32
	039	GM SYNTH-BASS 2	39	0	32
	040	GM VIOLIN	40	0	32
	041	GM VIOLA	41	0	32
	042	GM CELLO	42	0	32
	043	GM CONTRABASS	43	0	32
	044	GM TREMOLO STRINGS	44	0	32
	045	GM PIZZICATO	45	0	32
	046	GM HARP	46	0	32
	047	GM TIMPANI	47	0	32
	048	GM STRINGS 1	48	0	32
	049	GM STRINGS 2	49	0	32
	050	GM SYNTH-STRINGS 1	50	0	32
	051	GM SYNTH-STRINGS 2	51	0	32
	052	GM CHOIR AAHS	52	0	32
	053	GM VOICE DOO	53	0	32
	054	GM SYNTH-VOICE	54	0	32
	055	GM ORCHESTRA HIT	55	0	16
	056	GM TRUMPET	56	0	32
	057	GM TROMBONE	57	0	32
	058	GM TUBA	58	0	32
	059	GM MUTE TRUMPET	59	0	32
	060	GM FRENCH HORN	60	0	16
	061	GM BRASS	61	0	32
	062	GM SYNTH-BRASS 1	62	0	32
	063	GM SYNTH-BRASS 2	63	0	16
	064	GM SOPRANO SAX	64	0	32
	065	GM ALTO SAX	65	0	32
	066	GM TENOR SAX	66	0	32
	067	GM BARITONE SAX	67	0	32
	068	GM OBOE	68	0	32
	069	GM ENGLISH HORN	69	0	32
	070	GM BASSOON	70	0	32
	071	GM CLARINET	71	0	32
	072	GM PICCOLO	72	0	32
	073	GM FLUTE	73	0	32
	074	GM RECORDER	74	0	32
	075	GM PAN FLUTE	75	0	32
	076	GM BOTTLE BLOW	76	0	16
	077	GM SHAKUHACHI	77	0	16
	078	GM WHISTLE	78	0	32
	079	GM OCARINA	79	0	32
	080	GM SQUARE LEAD	80	0	16
	081	GM SAWTOOTH LEAD	81	0	16
	082	GM CALLIOPE	82	0	16
	083	GM CHIFF LEAD	83	0	16
	084	GM CHARANG	84	0	16
	085	GM VOICE LEAD	85	0	16
	086	GM FIFTH LEAD	86	0	16
	087	GM BASS+LEAD	87	0	16
	088	GM FANTASY	88	0	16
	089	GM WARM PAD	89	0	16
	090	GM POLYSYNTH	90	0	16
	091	GM SPACE CHOIR	91	0	16
	092	GM BOWED GLASS	92	0	16
	093	GM METAL PAD	93	0	16
	094	GM HALO PAD	94	0	16
	095	GM SWEEP PAD	95	0	16
	096	GM RAIN DROP	96	0	16
	097	GM SOUND TRACK	97	0	16
	098	GM CRYSTAL	98	0	16
	099	GM ATMOSPHERE	99	0	16
	100	GM BRIGHTNESS	100	0	16
	101	GM GOBLINS	101	0	16
	102	GM ECHOES	102	0	16
	103	GM SF	103	0	16
	104	GM SITAR	104	0	16
	105	GM BANJO	105	0	32
	106	GM SHAMISEN	106	0	32
	107	GM KOTO	107	0	32
	108	GM THUMB PIANO	108	0	32
	109	GM BAGPIPE	109	0	16
	110	GM FIDDLE	110	0	32
	111	GM SHANAI	111	0	32
	112	GM TINKLE BELL	112	0	32
	113	GM AGOGO	113	0	32
	114	GM STEEL DRUMS	114	0	16
	115	GM WOOD BLOCK	115	0	32
	116	GM TAIKO	116	0	32
	117	GM MELODIC TOM	117	0	32
	118	GM SYNTH-DRUM	118	0	32
	119	GM REVERSE CYMBAL	119	0	32
	120	GM GT FRET NOISE	120	0	32
	121	GM BREATH NOISE	121	0	32
	122	GM SEASHORE	122	0	16
	123	GM BIRD	123	0	16
	124	GM TELEPHONE	124	0	32
	125	GM HELICOPTER	125	0	32
	126	GM APPLAUSE	126	0	16
	127	GM GUNSHOT	127	0	32
ドラムセット	128	STANDARD SET 1	0	120	
	129	STANDARD SET 2	1	120	
	130	ROOM SET	8	120	
	131	POWER SET	16	120	
	132	ELECTRONIC SET	24	120	
	133	SYNTH SET 1	25	120	
	134	SYNTH SET 2	30	120	
	135	JAZZ SET	32	120	
	136	BRUSH SET	40	120	
	137	ORCHESTRA SET	48	120	

429A-J-041A

AP80R_j_33-47.p65　Page 41　04.8.26, 3:30 PM　Adobe PageMaker 6.5J/PPC

リズムリスト

リズムグループ名	No.	リズム名
POPS	00	POP 1
	01	WORLD POP
	02	8 BEAT POP
	03	SOUL BALLAD 1
	04	POP SHUFFLE 1
	05	8 BEAT DANCE
	06	POP BALLAD 1
	07	POP BALLAD 2
	08	BALLAD
	09	FUSION SHUFFLE
	10	SOUL BALLAD 2
	11	16 BEAT 1
	12	16 BEAT 2
	13	8 BEAT 1
	14	8 BEAT 2
	15	8 BEAT 3
	16	DANCE POP 1
	17	POP FUSION
	18	POP 2
	19	POP WALTZ
DANCE/FUNK	00	DANCE
	01	DISCO 1
	02	DISCO 2
	03	EURO BEAT
	04	DANCE POP 2
	05	GROOVE SOUL
	06	TECHNO
	07	TRANCE
	08	HIP-HOP
	09	FUNK
ROCK	00	POP ROCK 1
	01	POP ROCK 2
	02	POP ROCK 3
	03	FOLKIE POP
	04	POP SHUFFLE 2
	05	ROCK BALLAD
	06	SOFT ROCK
	07	ROCK 1
	08	ROCK 2
	09	HEAVY METAL
	10	60'S SOUL
	11	60'S ROCK
	12	SLOW ROCK
	13	SHUFFLE ROCK
	14	50'S ROCK
	15	BLUES
	16	NEW ORLNS R&R
	17	TWIST
	18	R&B
	19	ROCK WALTZ

リズムグループ名	No.	リズム名
JAZZ	00	BIG BAND 1
	01	BIG BAND 2
	02	BIG BAND 3
	03	SWING
	04	SLOW SWING
	05	FOX TROT
	06	JAZZ COMBO 1
	07	JAZZ VOICES
	08	ACID JAZZ
	09	JAZZ WALTZ
EUROPEAN	00	POLKA
	01	POP POLKA
	02	MARCH 1
	03	MARCH 2
	04	WALTZ 1
	05	SLOW WALTZ
	06	VIENNESE WALTZ
	07	FRENCH WALTZ
	08	SERENADE
	09	TANGO
LATIN	00	BOSSA NOVA 1
	01	BOSSA NOVA 2
	02	SAMBA 1
	03	SAMBA 2
	04	MAMBO
	05	RHUMBA
	06	CHA-CHA-CHA
	07	MERENGUE
	08	BOLERO
	09	SALSA
VARIOUS	00	REGGAE
	01	PUNTA
	02	CUMBIA
	03	PASODOBLE
	04	SKA
	05	BLUEGRASS
	06	DIXIE
	07	TEX-MEX
	08	COUNTRY 1
	09	COUNTRY 2
	10	FOLKLORE
	11	JIVE
	12	FAST GOSPEL
	13	SLOW GOSPEL
	14	SIRTAKI
	15	HAWAIIAN
	16	ADANI
	17	BALADI
	18	ENKA
	19	STR QUARTET

リズムグループ名	No.	リズム名
FOR PIANO	00	PIANO BALLAD 1
	01	PIANO BALLAD 2
	02	PIANO BALLAD 3
	03	EP BALLAD 1
	04	EP BALLAD 2
	05	BLUES BALLAD
	06	MELLOW JAZZ
	07	JAZZ COMBO 2
	08	RAGTIME
	09	BOOGIE-WOOGIE
	10	ARPEGGIO 1
	11	ARPEGGIO 2
	12	ARPEGGIO 3
	13	PIANO BALLAD 4
	14	6/8 MARCH
	15	MARCH 3
	16	2 BEAT
	17	WALTZ 2
	18	WALTZ 3
	19	WALTZ 4

NOTE

- FOR PIANO(フォーピアノ)グループの10～19番のリズムは、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていません。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。モードをカシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかを選んだ状態で、コードを指定してご使用ください。

429A-J-042A

AP80R_j_33-47.p65 Page 42 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ソングリスト

ピアノグループリスト

No.	曲名
00	ウィンター･ゲームス
01	いつか王子様が
02	ヒルズ
03	フロステッド･グラス
04	ホット･フィール
05	レット･イット･ビー
06	虹の彼方に
07	エンターテイナー
08	メープル･リーフ･ラグ
09	幻想即興曲　作品66
10	ノクターン　作品9の2
11	エチュード　作品10の3「別れの曲」
12	エチュード　作品25の9「蝶々」
13	プレリュード　作品28の7
14	ワルツ　作品64の1「小犬のワルツ」
15	楽しき農夫
16	異国から「子供の情景」より
17	トロイメライ「子供の情景」より
18	アラベスク
19	貴婦人の乗馬
20	乙女の祈り
21	クシコス･ポスト
22	ユーモレスク
23	亜麻色の髪の乙女
24	アラベスク　第1番
25	ジムノペディ　第1曲
26	カノン　ニ長調
27	メヌエット「アンナ･マグダレーナのためのクラヴィーア小曲集」より
28	インヴェンション　第1番
29	インヴェンション　第13番
30	主よ､人の望みの喜びよ
31	きらきら星変奏曲より
32	ソナタ　K.331　第1楽章　テーマ
33	ソナタ　K.331　第3楽章　トルコ行進曲
34	セレナード「アイネ･クライネ･ナハトムジーク」より
35	ソナチネ　作品36の1　第1楽章
36	喜びの歌
37	ソナタ　作品13「悲愴」第2楽章
38	ソナタ　作品27の2「月光」第1楽章
39	トルコ行進曲
40	エリーゼのために
41	楽興の時　作品94の3
42	即興曲　作品142の3　テーマ(アムプロムプチュ)
43	チョップスティックス
44	ねこふんじゃった
45	ダニー･ボーイ
46	アメージング･グレイス
47	大きな古時計
48	ロング･ロング･アゴー
49	峠の我が家

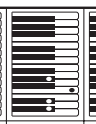
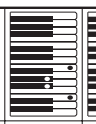
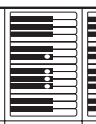
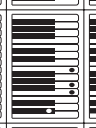
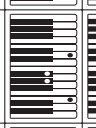
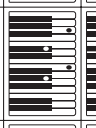
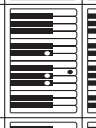
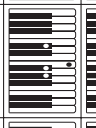
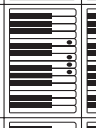
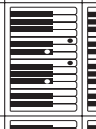
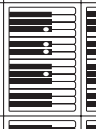
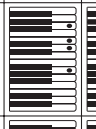
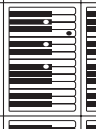
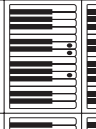
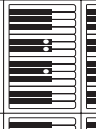
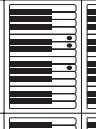
ソンググループリスト

No.	曲名
00	セーラ
01	グリーンスリーブス
02	茶色の小びん
03	おめでとうクリスマス
04	ジングル･ベル
05	きよしこの夜
06	もろびとこぞりて
07	もみの木
08	聖者の行進
09	ほたるの光
10	大きな栗の木の下で
11	ぶんぶんぶん
12	かわいいオーガスチン
13	森のくまさん
14	こげよマイケル
15	線路は続くよどこまでも
16	オーラ･リー
17	しあわせなら手をたたこう
18	愛しのクレメンタイン
19	アニー･ローリー
20	マイ･ボニー
21	スワニー河(故郷の人々)
22	おお　スザンナ
23	草競馬
24	アルプス一万尺
25	ケンタッキーの我が家
26	わらの中の七面鳥
27	さらばジャマイカ
28	さくら　さくら
29	ワルツィング･マチルダ
30~39	ダウンロード曲(ユーザーソング)

音名／ノートナンバー	STANDARD SET 1	STANDARD SET 2	ROOM SET	POWER SET	ELECTRONIC SET	SYNTH SET 1	SYNTH SET 2	JAZZ SET	BRUSH SET	ORCHESTRA SET
E♭1 27	High Q	←	←	←	←	←	←	←	←	Closed Hi-Hat
E1 28	Slap	←	←	←	←	←	←	←	←	Pedal Hi-Hat
F1 29	Scratch Push	←	←	←	←	←	←	←	←	Open Hi-Hat
F♯1 30	Scratch Pull	←	←	←	←	←	←	←	←	Ride Cymbal 1
G1 31	Sticks	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A♭1 32	Square Click	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A1 33	Metronome Click	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B♭1 34	Metronome Bell	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B1 35	Standard1 Kick 2	Standard2 Kick 2	Room Kick 2	Power Kick 2	Electric Kick 2	Synth1 Kick 2	Synth2 Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 1
C2 36	Standard1 Kick 1	Standard2 Kick 1	Room Kick 1	Power Kick 1	Electric Kick 1	Synth1 Kick 1	Synth2 Kick 1	Jazz Kick 1	Jazz Kick 1	Concert BD 1
C♯2 37	Side Stick	←	←	←	←	Synth1 Rim Shot	←	←	←	←
D2 38	Standard1 Snare 1	Standard2 Snare 1	Room Snare 1	Power Snare 1	Electric Snare 1	Synth1 Snare 1	Synth2 Snare 1	Jazz Snare 1	Brush Snare 1	Concert SD
E♭2 39	Hand Clap 1	Hand Clap 2	←	←	←	Hand Clap 2	←	←	Brush Slap	Castanets
E2 40	Standard1 Snare 2	Standard2 Snare 2	Room Snare 2	Power Snare 2	Electric Snare 2	Synth1 Snare 2	Synth2 Snare 2	Jazz Snare 2	Brush Snare 2	Concert SD
F2 41	Low Tom 2	←	Room Low Tom 2	Power Low Tom 2	Electric Low Tom 2	Synth1 Low Tom 2	←	←	←	Timpani F
F♯2 42	Closed Hi-Hat	←	←	←	←	Synth1 Closed HH 1	←	←	←	Timpani F♯
G2 43	Low Tom 1	←	Room Low Tom 1	Power Low Tom 1	Electric Low Tom 1	Synth1 Low Tom 1	←	←	←	Timpani G
A♭2 44	Pedal Hi-Hat	←	←	←	←	Synth1 Closed HH 2	←	←	←	Timpani G♯
A2 45	Mid Tom 2	←	Room Mid Tom 2	Power Mid Tom 2	Electric Mid Tom 2	Synth1 Mid Tom 2	←	←	←	Timpani A
B♭2 46	Open Hi-Hat	←	←	←	←	Synth1 Open HH	←	←	←	Timpani A♯
B2 47	Mid Tom 1	←	Room Mid Tom 1	Power Mid Tom 1	Electric Mid Tom 1	Synth1 Mid Tom 1	←	←	←	Timpani B
C3 48	High Tom 2	←	Room High Tom 2	Power High Tom 2	Electric High Tom 2	Synth1 High Tom 2	←	←	←	Timpani c
C♯3 49	Crash Cymbal 1	←	←	←	←	Synth1 Crash Cymbal	←	←	←	Timpani c♯
D3 50	High Tom 1	←	Room High Tom 1	Power High Tom 1	Electric High Tom 1	Synth1 High Tom 1	←	←	←	Timpani d
E♭3 51	Ride Cymbal 1	←	←	←	←	Synth1 Ride Cymbal	←	←	←	Timpani d♯
E3 52	Chinese Cymbal	←	←	←	Reverse Cymbal	←	←	←	←	Timpani e
F3 53	Ride Bell	←	←	←	←	←	←	←	←	Timpani f
F♯3 54	Tambourine	←	←	←	←	Synth1 Tambourine	←	←	←	←
G3 55	Splash Cymbal	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A♭3 56	Cowbell	←	←	←	←	Synth1 Cowbell	Synth1 Cowbell	←	←	←
A3 57	Crash Cymbal 2	←	←	←	←	←	←	←	←	Concert Cymbal 2
B♭3 58	Vibraslap	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B3 59	Ride Cymbal 2	←	←	←	←	←	←	←	←	Concert Cymbal 1
C4 60	High Bongo	←	←	←	←	Synth1 High Bongo	←	←	←	←
C♯4 61	Low Bongo	←	←	←	←	Synth1 Low Bongo	←	←	←	←
D4 62	Mute High Conga	←	←	←	←	Synth1 Mute Hi Conga	←	←	←	←
E♭4 63	Open High Conga	←	←	←	←	Synth1 Open Hi Conga	←	←	←	←
E4 64	Open Low Conga	←	←	←	←	Synth1 Open Low Conga	←	←	←	←
F4 65	High Timbale	←	←	←	←	←	←	←	←	←
F♯4 66	Low Timbale	←	←	←	←	←	←	←	←	←
G4 67	High Agogo	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A♭4 68	Low Agogo	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A4 69	Cabasa	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B♭4 70	Maracas	←	←	←	←	Synth1 Maracas	Synth1 Maracas	←	←	←
B4 71	Short High Whistle	←	←	←	←	←	←	←	←	←
C5 72	Long Low Whistle	←	←	←	←	←	←	←	←	←
C♯5 73	Short Guiro	←	←	←	←	←	←	←	←	←
D5 74	Long Guiro	←	←	←	←	←	←	←	←	←
E♭5 75	Claves	←	←	←	←	Synth1 Claves	Synth1 Claves	←	←	←
E5 76	High Wood Block	←	←	←	←	←	←	←	←	←
F5 77	Low Wood Block	←	←	←	←	←	←	←	←	←
F♯5 78	Mute Cuica	←	←	←	←	←	←	←	←	←
G5 79	Open Cuica	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A♭5 80	Mute Triangle	←	←	←	←	←	←	←	←	←
A5 81	Open Triangle	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B♭5 82	Shaker	←	←	←	←	←	←	←	←	←
B5 83	Jingle Bell	←	←	←	←	←	←	←	←	←
C6 84	Bell Tree	←	←	←	←	←	←	←	←	←
C♯6 85	Castanets	←	←	←	←	←	←	←	←	←
D6 86	Mute Surdo	←	←	←	←	←	←	←	←	←
E♭6 87	Open Surdo	←	←	←	←	←	←	←	←	←
E6 88	Applause	←	←	←	←	←	←	←	←	←

“←”：STANDARD SET 1と同じ

フィンガードコード一覧表

コードの種類 / 根音(ルート)	aug (オーギュメント)	sus4 (サスフォー)	7sus4 (セブンスサスフォー)	m add9 (マイナーアドナインス)	mM7 (マイナーメジャーセブンス)	7♭5 (セブンスフラットファイブ)	add9 (アドナインス)
C							
C♯/(D♭)							
D							
(D♯)/E♭							
E							
F							
F♯/(G♭)							
G							
(G♯)/A♭							
A							
(A♯)/B♭							
B							

コードの種類 / 根音(ルート)	メジャー	m (マイナー)	7 (セブンス)	m7 (マイナーセブンス)	dim7 (ディミニッシュセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	dim (ディミニッシュ)	m7♭5 (マイナーセブンスフラットファイブ)
C								
C♯/(D♭)								
D								
(D♯)/E♭								
E								
F								
F♯/(G♭)								
G								
(G♯)/A♭								
A								
(A♯)/B♭								
B								

429A-J-045A

AP80R_j_33-47.p65 Page 45 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ご使用上の注意

添付別紙「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

■本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■本機のメモリー内容について

本機は、メモリーに記録した内容を電源を切った後(メモリー停止中に電源を切った後)も保持するために、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、本体の電源を切ると同時に記録内容(ソングメモリーの録音データやレジストレーションの登録内容、ユーザーソング、画面コントラスト設定等)は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約5年ですので、お買い上げより相当の年数が経ちましたら、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。有償にて電池交換をいたします。

- 本機の故障、修理や電池交換などによるメモリーデータの消失により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任は負えませんので、あらかじめご了承ください。

■付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

保証・アフターサービス

■保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間は保証書に記載されています

■修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」、「引取修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「引取修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

■あらかじめご了承いただきたいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
  また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

■アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

429A-J-046A

AP80R_j_33-47.p65 Page 46 04.8.26, 3:30 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

Model AP-80R

MIDI インプリメンテーション・チャート

Version : 1.0

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ～ 16	1 ～ 16 1 ～ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代　用	モード3 × ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	モード3 ×	
ノート ナンバー：	音　域	21 ～ 108 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	0 ～ 127 0 ～ 127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH V = 1～127 × 8nH V = 64	○ 9nH V = 1 ～ 127 × 9nH V= 0, 8nH V= **	**は関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロール チェンジ	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64 66 67 91 93 100, 101 120 121	○ × ○ *1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ *1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ボリューム パン エクスプレッション ダンパー ソステヌート ソフト リバーブセンド コーラスセンド RPN LSB, MSB オールサウンドオフ リセットオールコントローラー
プログラムチェンジ： 設定可能範囲		○ 0 ～ 127 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	○ 0 ～ 127 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	
エクスクルーシブ		○ *2	○ *2 *3	
コモン	: ソング・ポジション : ソング・セレクト : チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	: クロック : コマンド	○ ○	× ×	
その他	: ローカル ON／OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : リセット	× ○ × ×	× ○ ○ ×	
備　考		*1 : ファインチューン、コースチューンの送受信、RPN Null、およびピッチベンドセンスの受信 *2 : ・リバーブタイプ [F0][7F][7F][04][05][01][01][01][01][01][00][vv][F7] vv = 00 : Room1、01 : Room2、04 : Hall1、03 : Hall2 ・コーラスタイプ [F0][7F][7F][04][05][01][01][01][01][02][00][vv][F7] vv = 00 : Chorus1、01 : Chorus2、02 : Chorus3、03 : Chorus4 *3 : GM オン／オフ　GMオン= MIDIインコードジャッジ　オフ GMオフ= MIDIインコードジャッジ　オン	

モード1 :　オムニ・オン、ポリ　　モード2 :　オムニ・オン、モノ　　○ : あり
モード3 :　オムニ・オフ、ポリ　　モード4 :　オムニ・オフ、モノ　　× : なし

429A-J-047A

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

P MA0408-A Printed in China
AP80R-JA-1

AP80R_j_cover.p65 Page 2 04.8.26, 3:29 PM Adobe PageMaker 6.5J/PPC